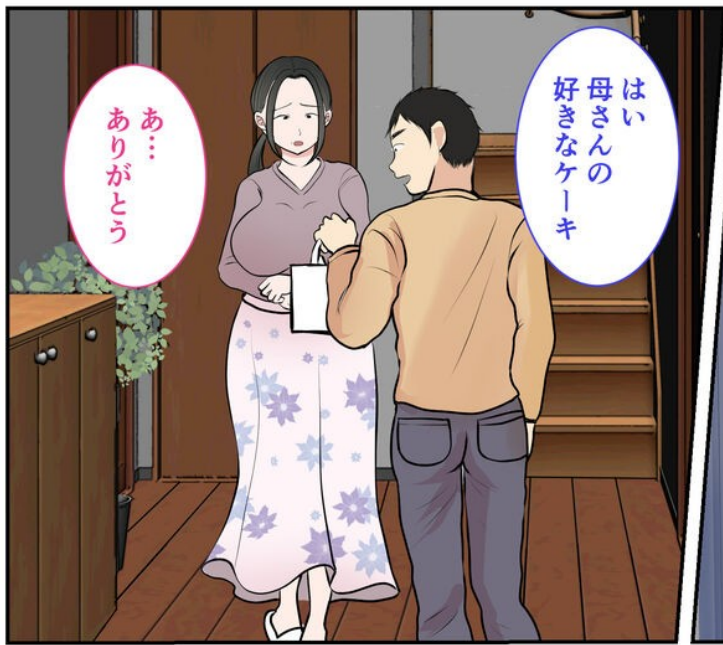


実母代理出産

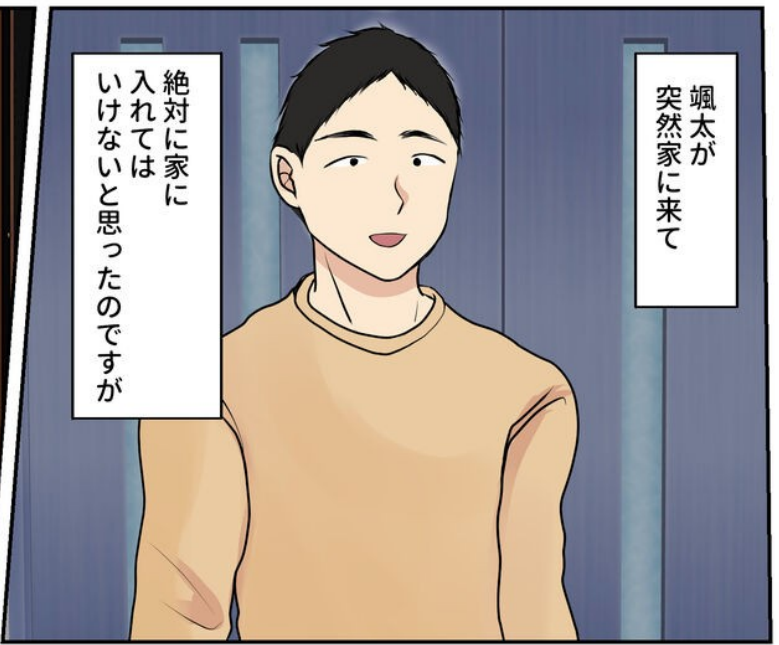
～奈々恵編2～





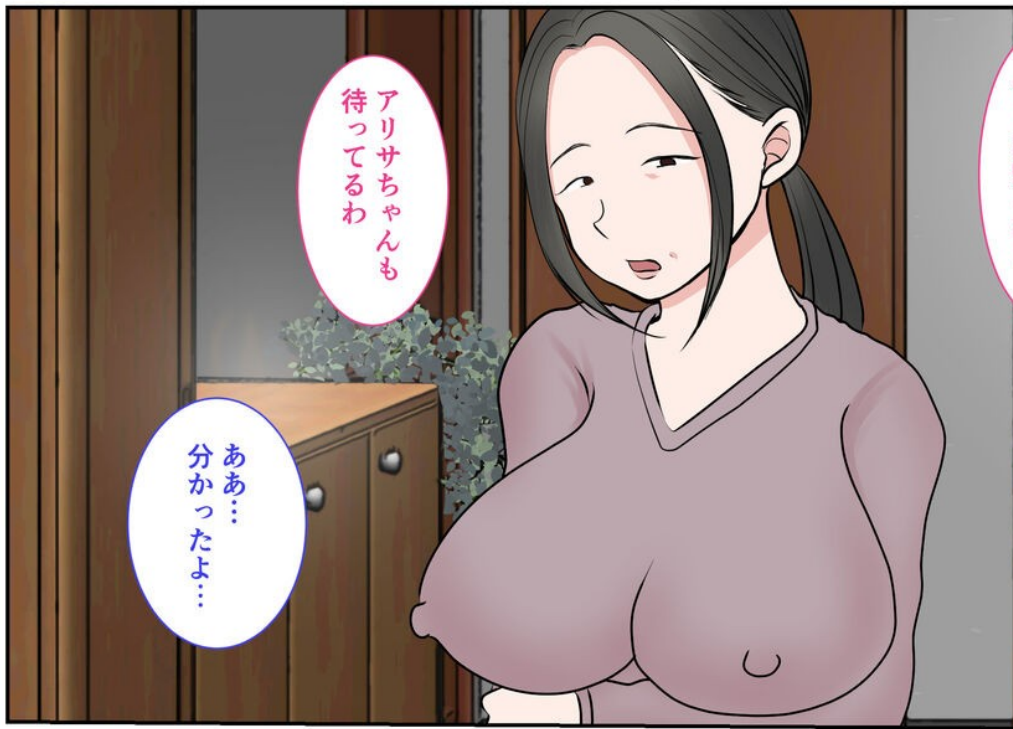
あ…
ありがとう

はい
母さんの
好きなケーキ



颯太が
突然家に来て

絶対に家に
入れては
いけないと思ったのですが



アリスちゃんも
待ってるわ

ああ…
分かったよ…

お茶したら
すぐ家帰るのよ

私は颯太を
家に入れてしまったのです



へー

ダーズリンよ…

これは
なんの紅茶？

母さんの
淹れてくれる
お茶は美味しいよ

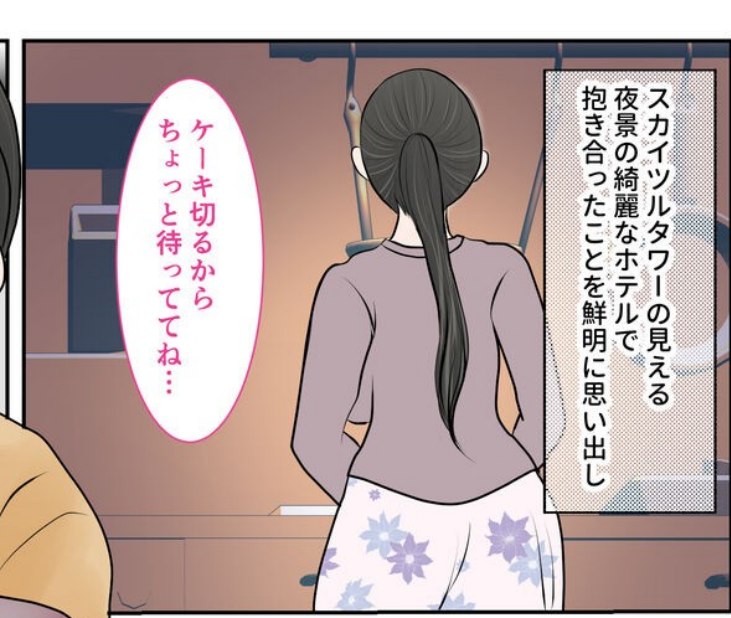


母さん…

あッ…

モ

みっ



ケーキ切るから
ちょっと待っててね…

スカイツルタワーの見える
夜景の綺麗なホテルで
抱き合ったことを鮮明に思い出し



あまり
長居させるのは
危険ね…

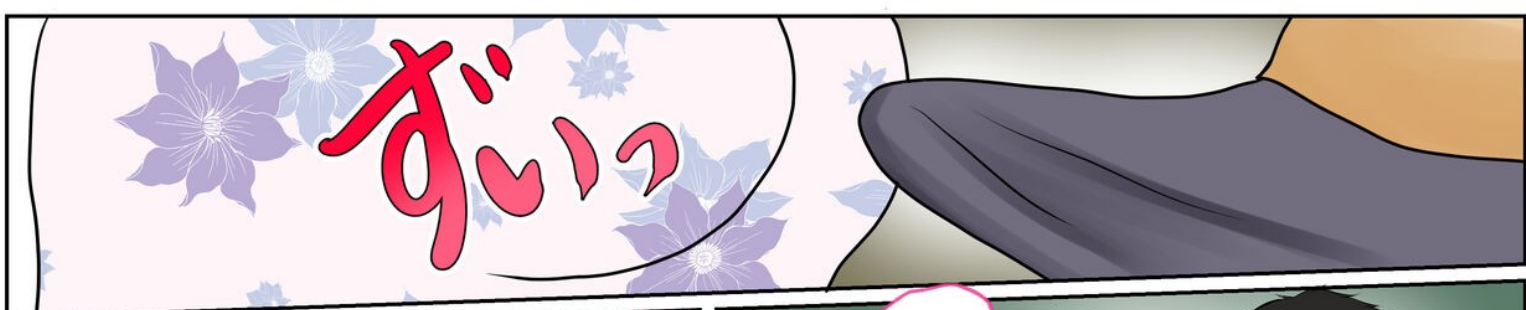
すぐに
出ていってもらおうと
思ったのですが…



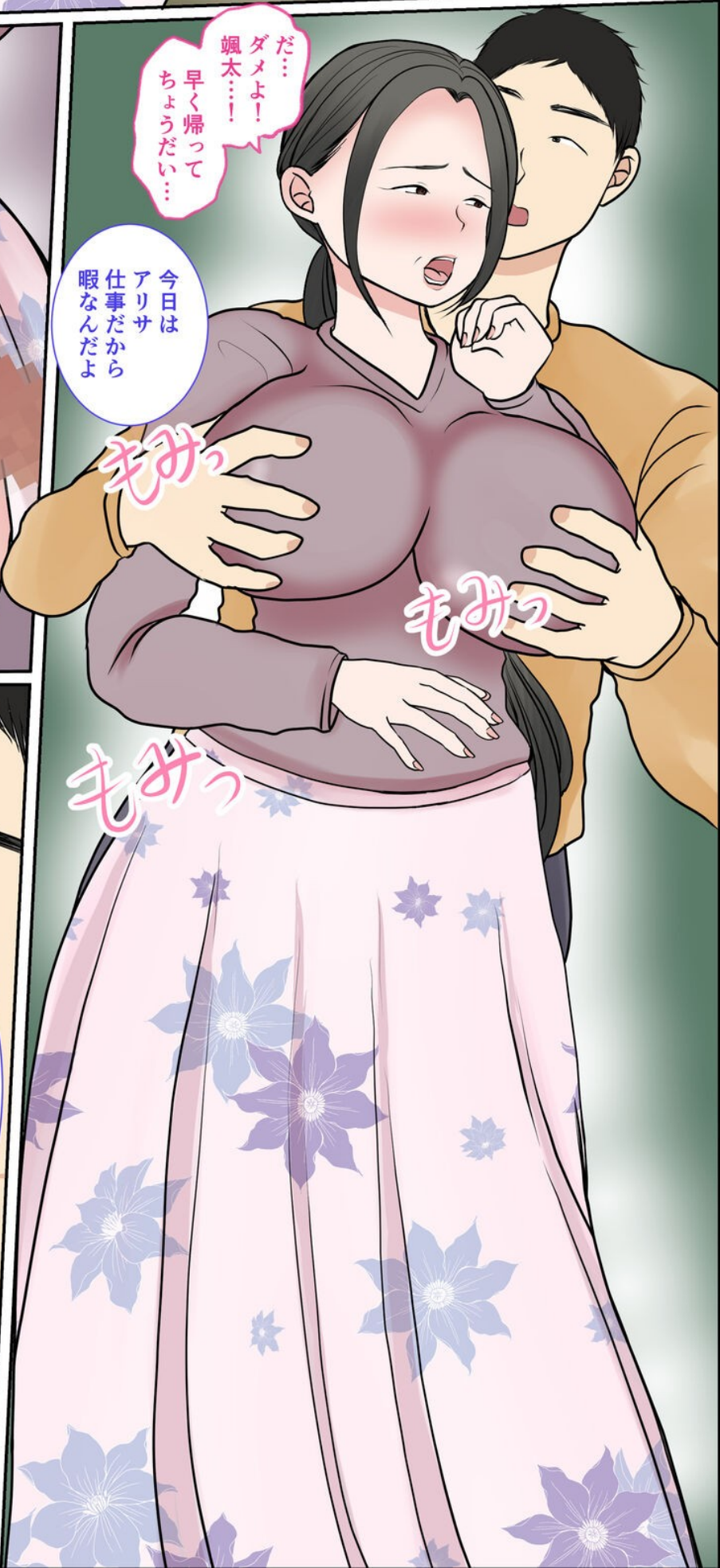
息子の優しさを信じた
私は、
油断してしまったのです…



警戒しつつも
あの子なりに気を使って
くれたのかなと思ひ

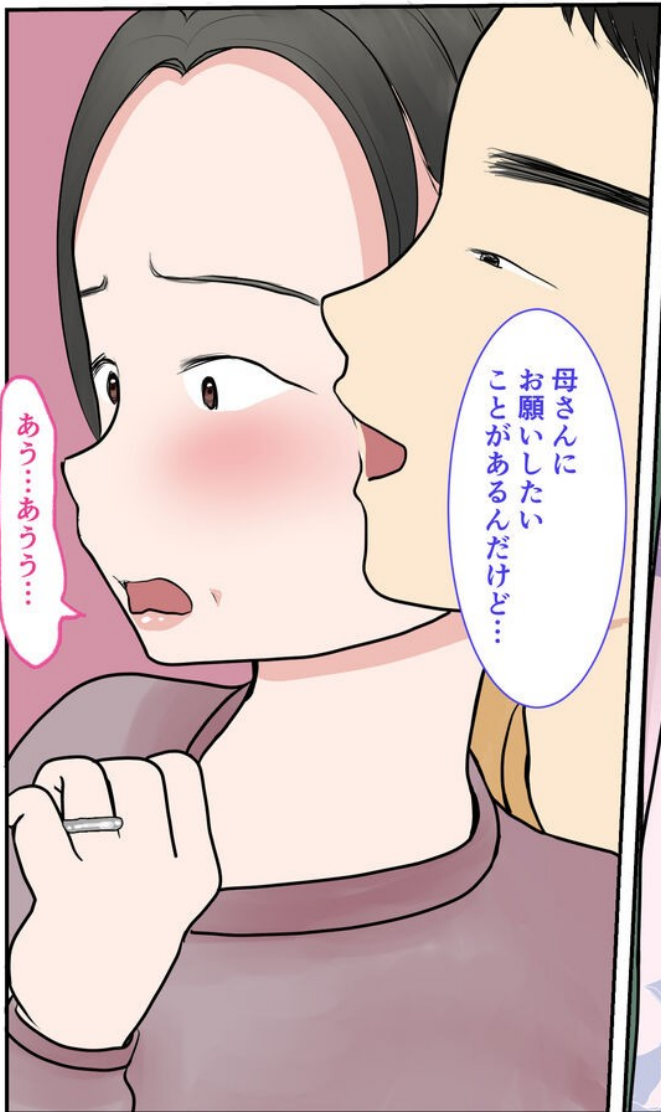


いきなり
胸を揉まれて…
硬いペニスを
押し当てられて…



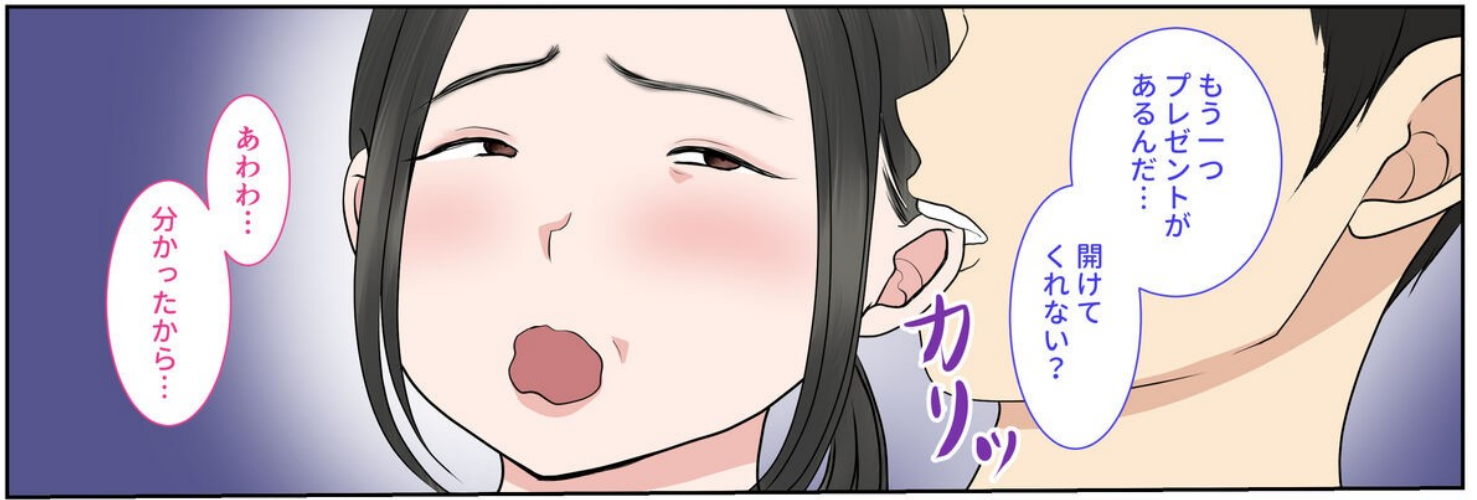
だ…
ダメよ！
颯太…！
早く帰って
ちょうだい…

今日は
アリサ
仕事だから
暇なんだよ



母さんに
お願いしたい
ことがあるんだけど…

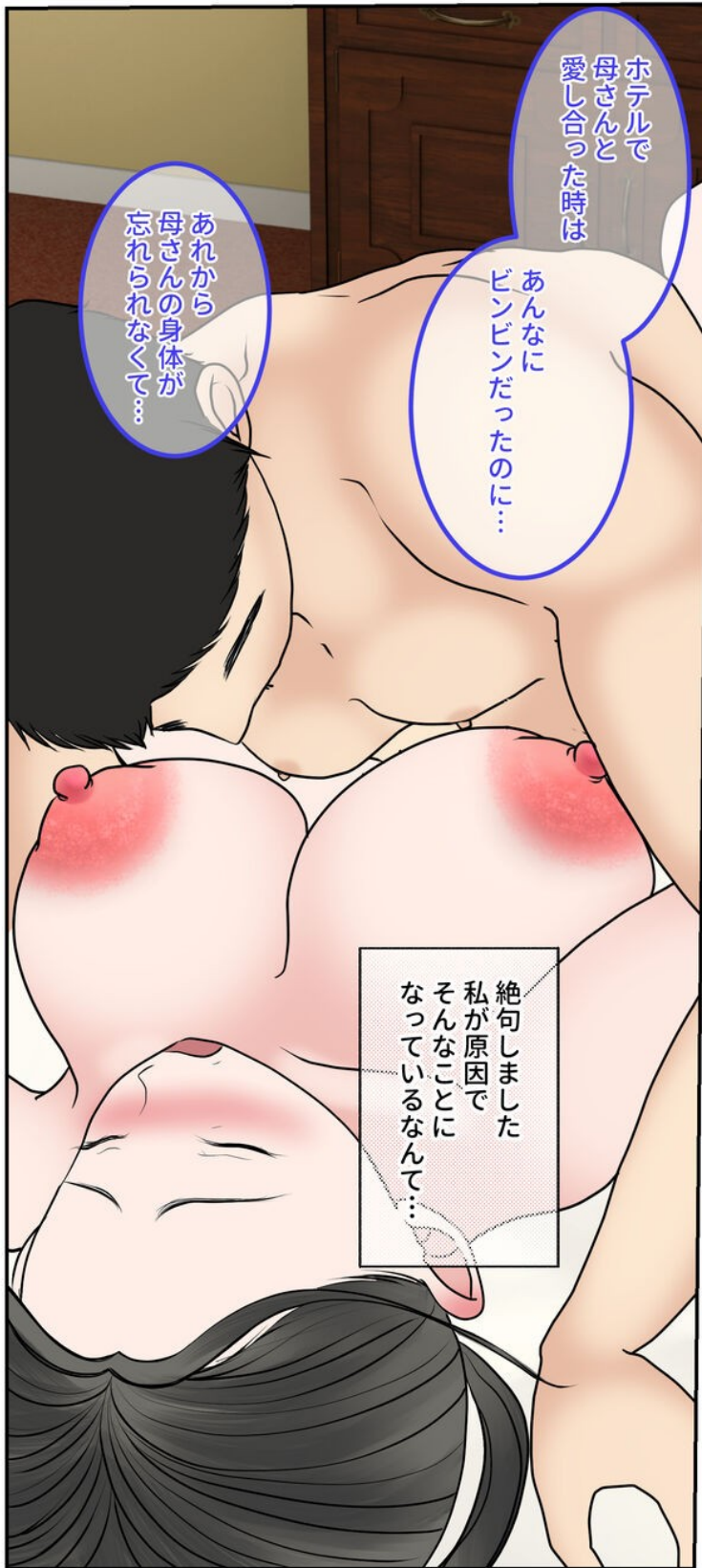
あう…あう…



あわわ...
分かったから...

もう一つ
プレゼントが
あるんだ...
開けて
くれない?

カツッ



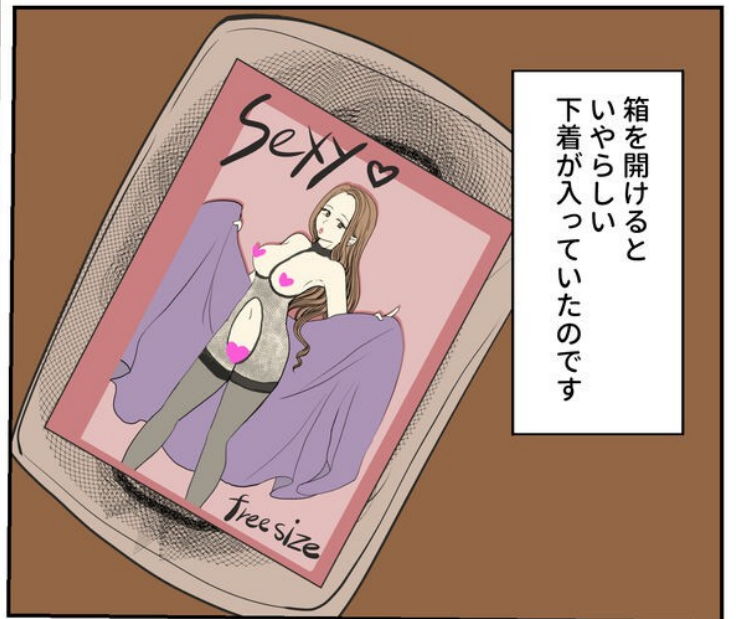
あれから
母さんの身体が
忘れられなくて...

ホテルで
母さんと
愛し合った時は
あんなに
ピンピンだったのに...

絶対しました
私が原因で
そんなこと
なっているなんて...



こッ
こんなの
着れないわ!



箱を開けると
いやらしい
下着が入っていたのです

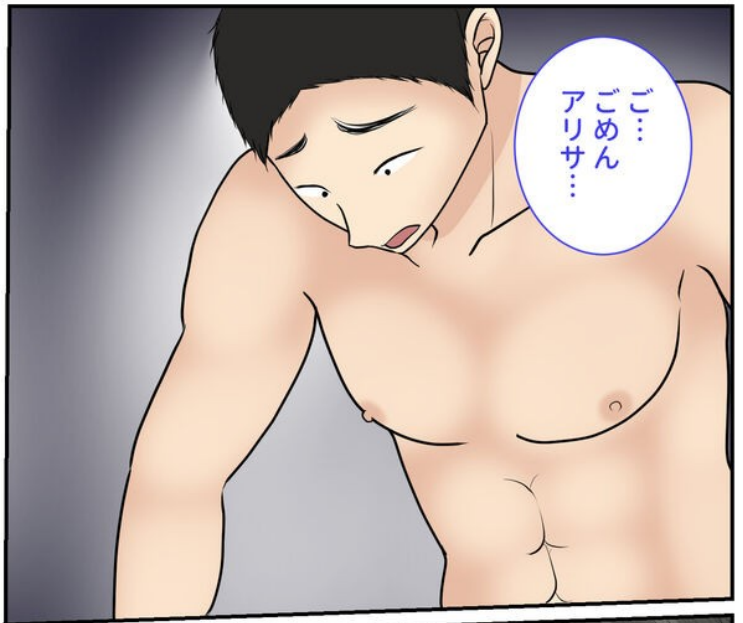


母さん、
俺さん、
アリスとこの前
セックスしたんだけど

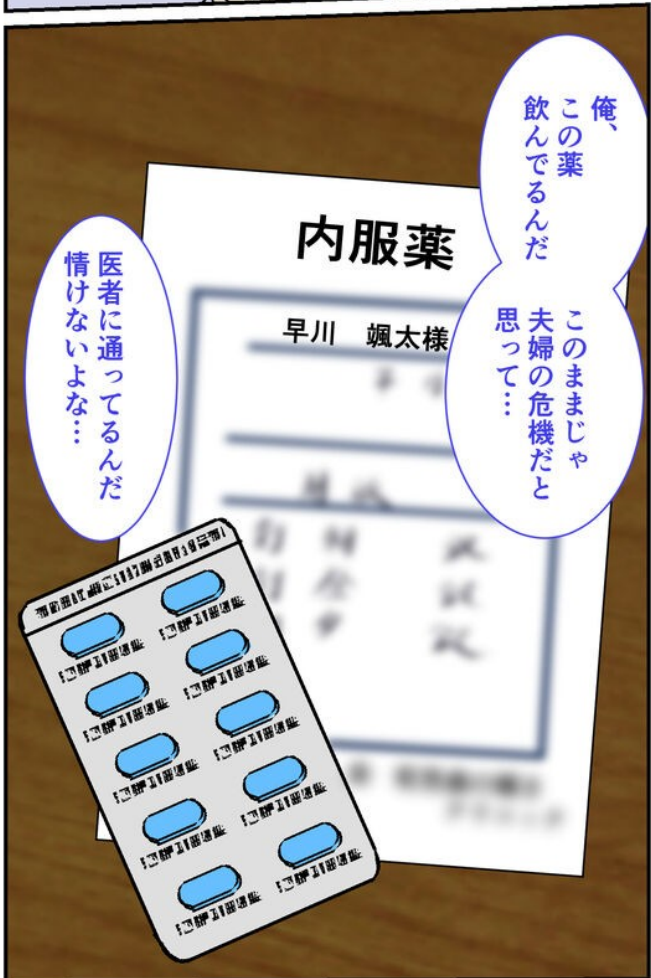
全然
勃たなかったんだ



もういいよ
今日は寝るから…



ご…ごめん
アリサ…



内服薬

早川 颯太様

俺、この薬飲んでるんだ
このままじゃ夫婦の危機だと思ってる…

医者に通ってるんだ
情けないよな…



私のせいで、
息子夫婦は…
私のせいで…



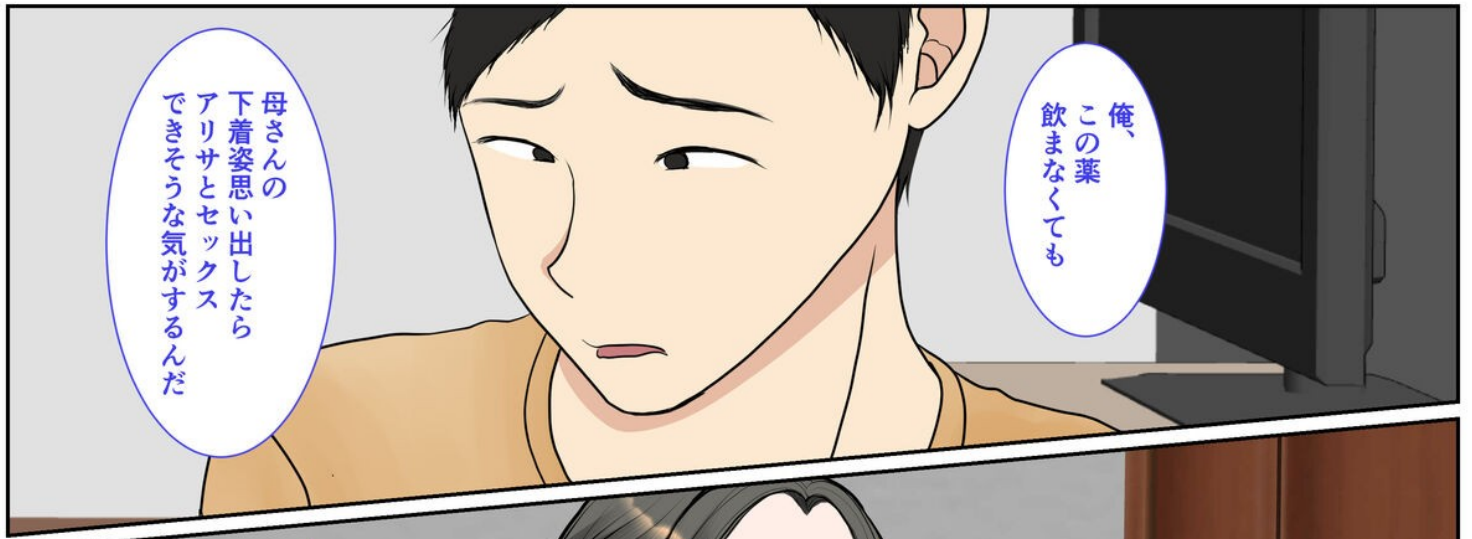
颯太が
取り出した薬は

奈々ちゃん
聞いてよ！
ウチの旦那！
これ飲んで
マッチングアプリの女と
ヤってたんだけど…！

以前私の親友、
きみちゃんが話してくれた
薬と同じ物でした

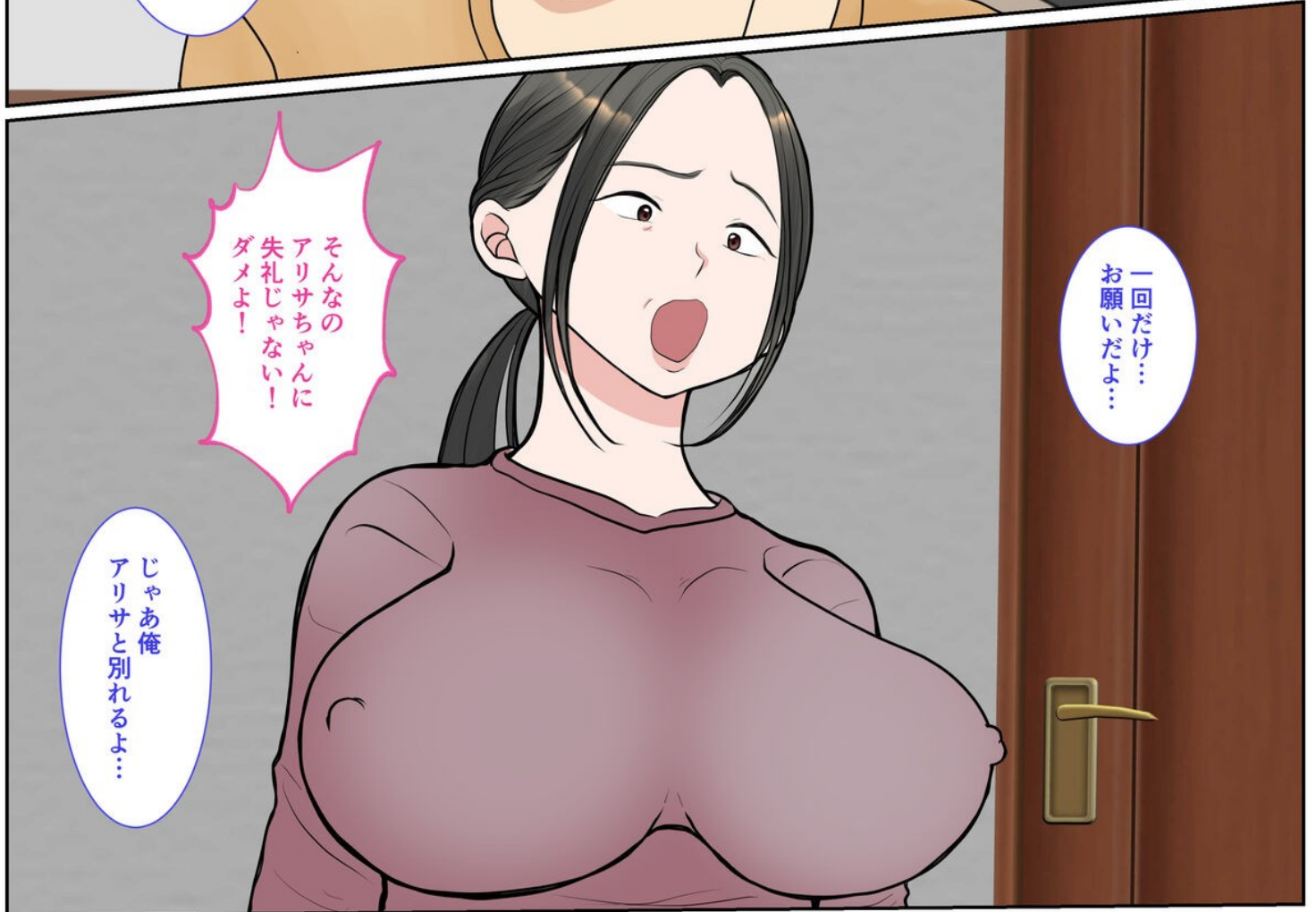


そッ
それって
おじさんが
飲むやつじゃない…



俺、
この薬
飲まなくても

母さんの
下着姿思い出したら
アリサとセックス
できそうな気がするんだ



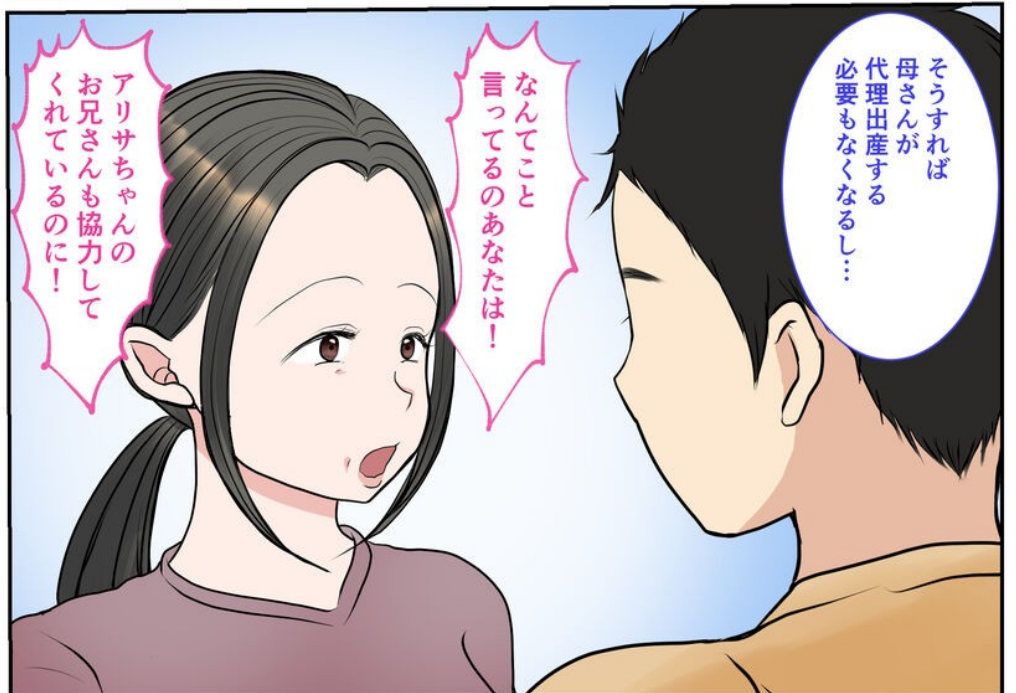
一回だけ…
お願いだよ…

そんなの
アリサちゃんに
失礼じゃない！
ダメよ！

じゃあ俺
アリサと別れるよ…



ちょっと
待ってて…



そうすれば
母さんが
代理出産する
必要もなくなるし…

なんてこと
言ってるのあなたは！

アリサちゃんの
お兄さんも協力して
くれているのに！

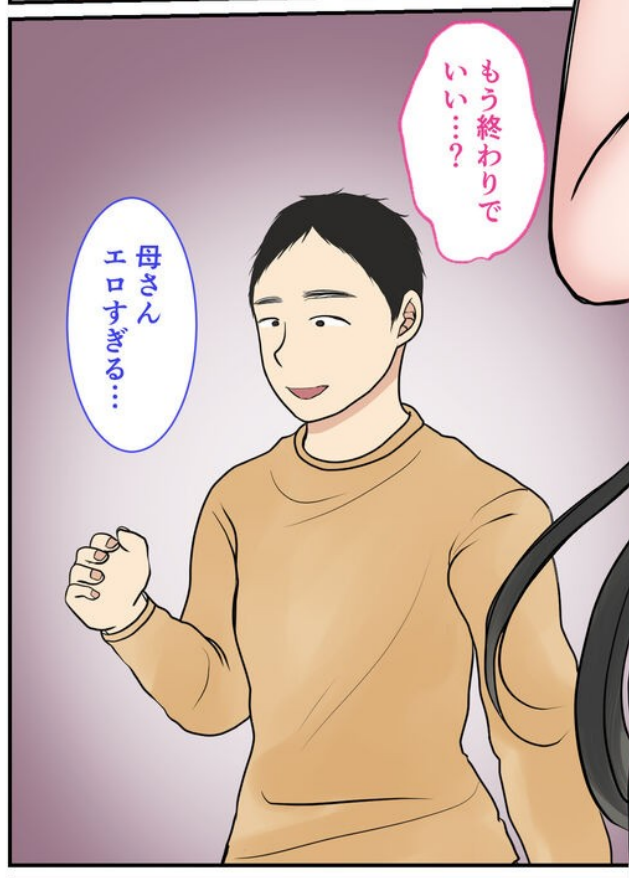
私は言われるがまま、
着替えてしまったのです
「お互い、絶対に触らない」という
約束を交わして…

着替えたわよ…
見るだけだからね…

カアアアアアアッ

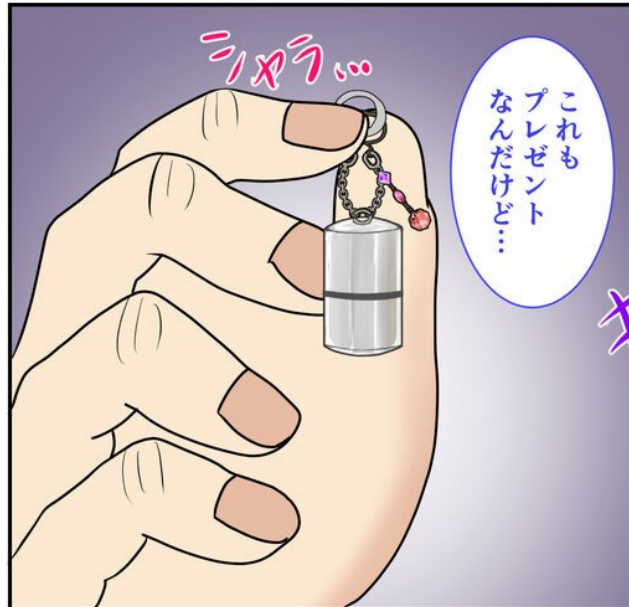


ぱんっ



母さん
エロすぎる…

もう終わり
いい…?



キラッ…

これも
プレゼント
なんだけど…

もじ



もじ

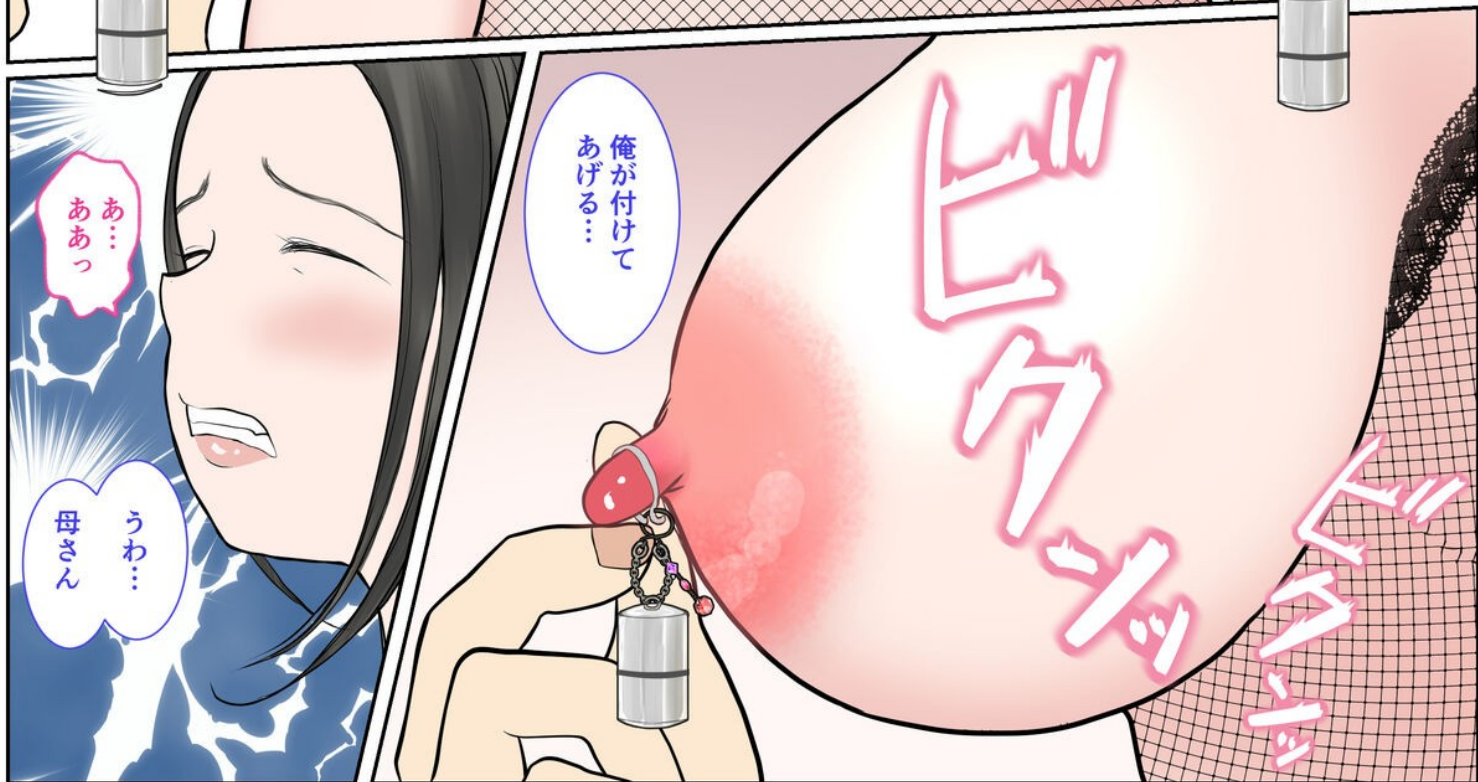


これって…

ニップルピアスだよ…

指輪みたいに
乳首にはめて
着けられるんだ

穴を開ける
必要はないし
痛くないよ…



俺が付けて
あげる…

あ…
あ…
あ…

うわ…
母さん



AUTO



ピアスの重みで私の乳首は無様に伸び切り

その姿を写真に撮られてしまっていたのです

不思議なことに感じてしまっていて…

今の母さんスケベすぎてヤバイよ…

想像以上に良い…エロすぎるよ…

ちよっ…撮りすぎよ…もういいでしょっ…

パロパロ

パロパロ

パロパロ





母さん
ムービー撮るから

オナって
みてよ

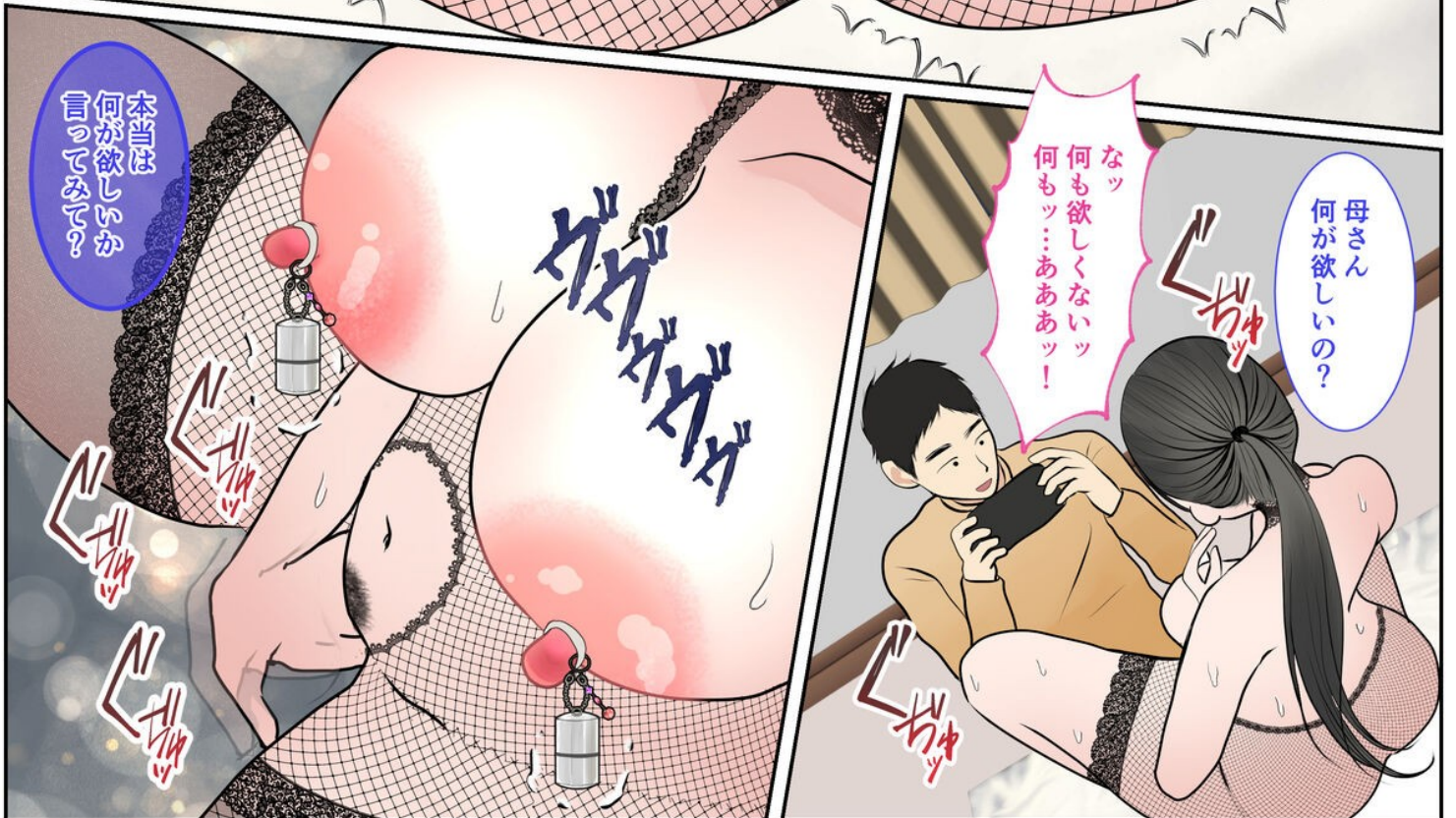
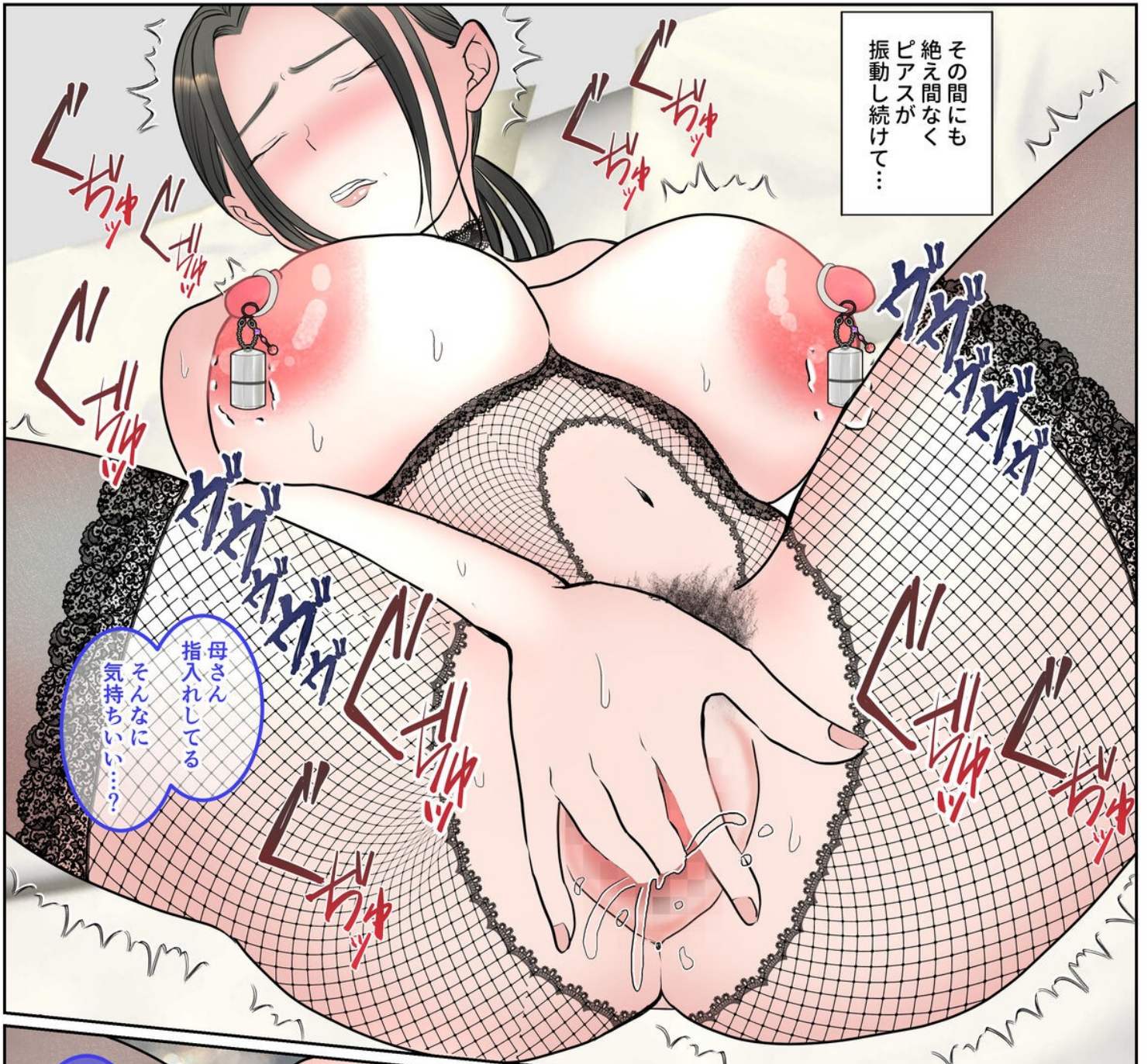


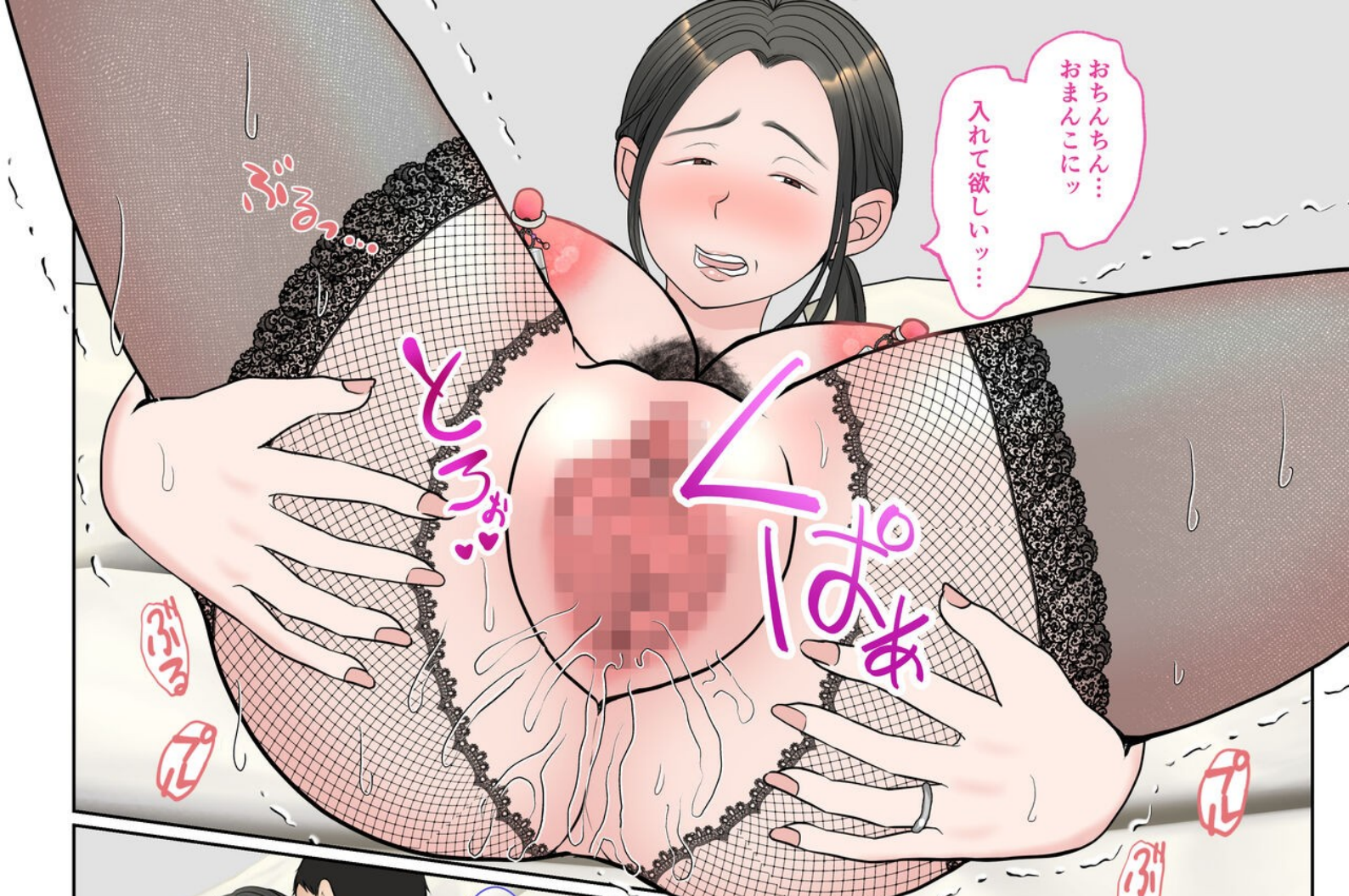
母さん
あそこすっごいよ...

ふふっ
いつちやった?

あっ潮吹いてる...
またイッちやった?

その間にも
絶え間なく
ピアスが
振動し続けて…





おちんちん…
おまんこにッ
入れて欲しいッ…

あはあ
とろろ



挿入れるよ…

あはあ



ふふっ
約束破ったのは
母さんだからね



あはあ

ぬる…

あはあ





何言ってるの！
あなたには
アリサちゃんが

ハア

ハア

ハア

ハア



可愛い
お嫁さんがいるじゃない!!!



母さん
俺は…

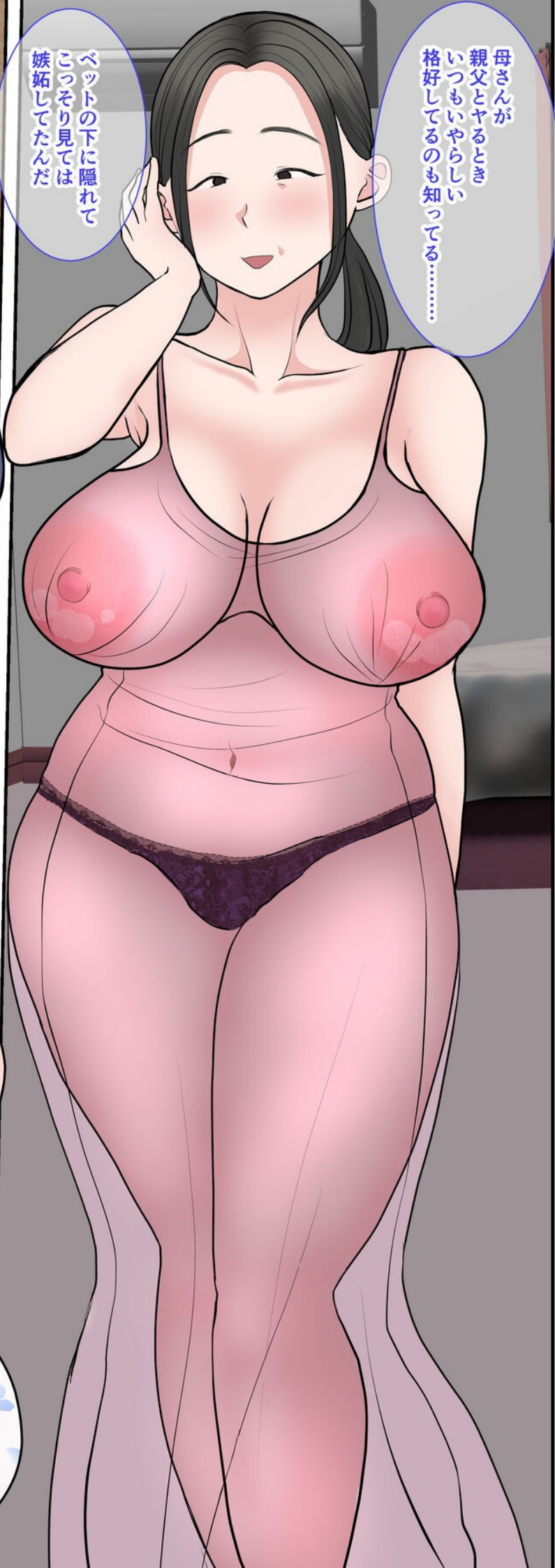
ずっとずっと
母さんを
愛してたんだ!!!!!!

母さんが
親父とやるとき
いつもいやらしい
格好してるのも知ってる……

ベッドの下に隠れて
こっそり見では
嫉妬してたんだ

俺は
母さんを
ずっと
好きだった……

フキフキ
フキフキ
フキフキ

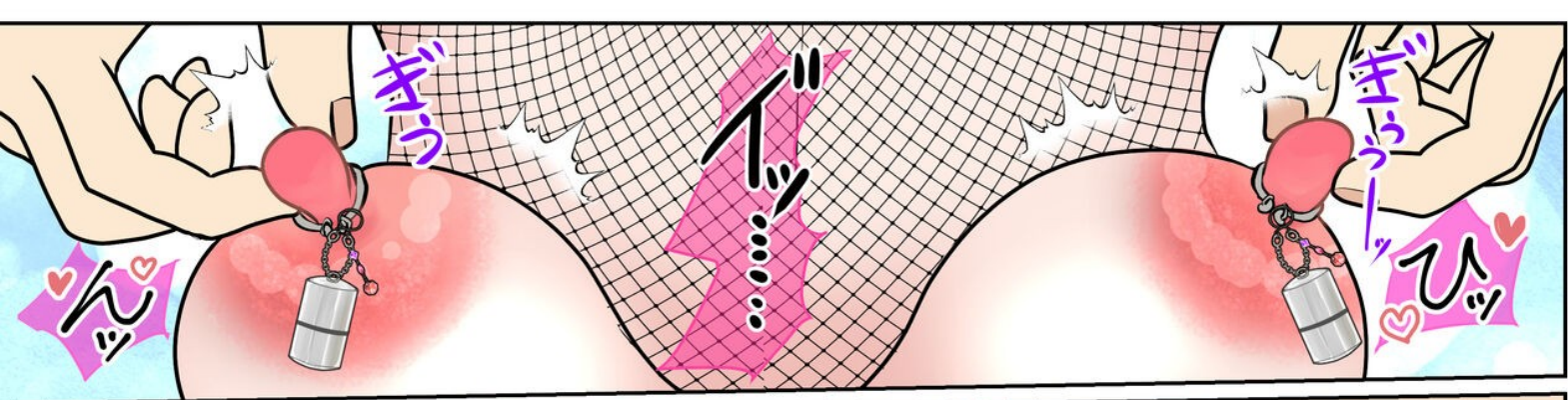


母さんへの想いを
断ち切るために
結婚したんだ……



実家を出れば
楽になるかと
思ったけど……

母さんと
会えない毎日が
苦痛だった……



母さんに
俺との子...

もう我慢の
限界だ!!



絶対に
産んでもらうから!!



母さんッ!!!

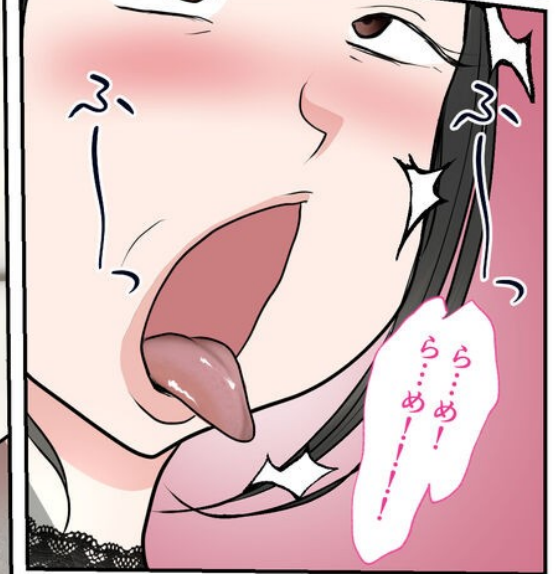
中に
射精すよ!!!

かはッ
!!??

なまかはッ
だめッ



くっ
そろそろ
イキそうだ



ら
ら
めめ!



自分の膣が強烈にうねり
ペニスを締め付けているのが
分かりました



俺の事...
全部受け止めて!!

全部
受け止めて!!

なまかはッ
だめッ

はッ

はッ



こんな時間!!

やだ!!!

私は虚ろな目で
部屋の時計を
探しました

一体
どれくらい
時間が経ったのか…

ほろ♡♡

ほろ♡♡



颯太…

もう帰りなさい…

ブ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ



パパが
帰ってきちゃう…

シーツ
洗ってる暇ないわ!

夕飯も
作らなくちゃだし…

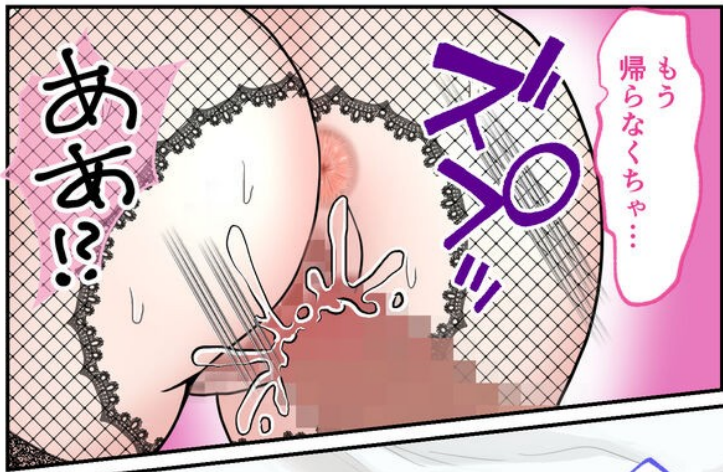
ブ
ォ
〜
!

ブ
ォ
〜

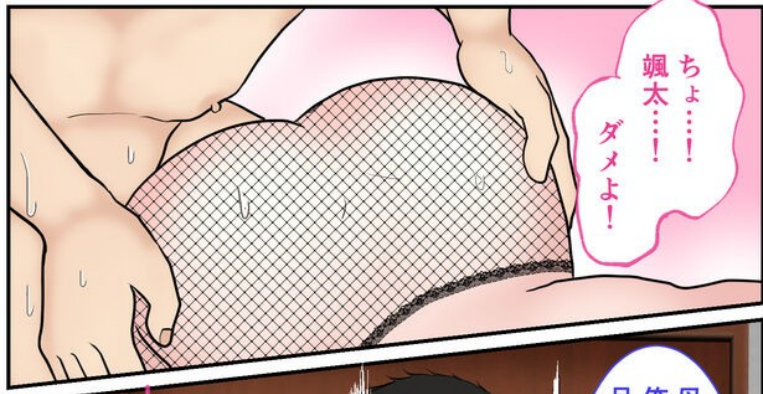


気をつけて
帰るのよ…

す



もう
帰らなくちゃ...



ちよ...!
楓太...!
ダメよ!



だめだよ...
母さんを
絶対はなさいよ、俺



母さんの
おしり見ながら
ハメるの
めちやくちや
気持ちいいよ



お母さん...
あつ...の...!!!
だ...か...に...!!!
な...か...に...!!!

俺も
もう限界だ...
母さんッ
イクよ!!!

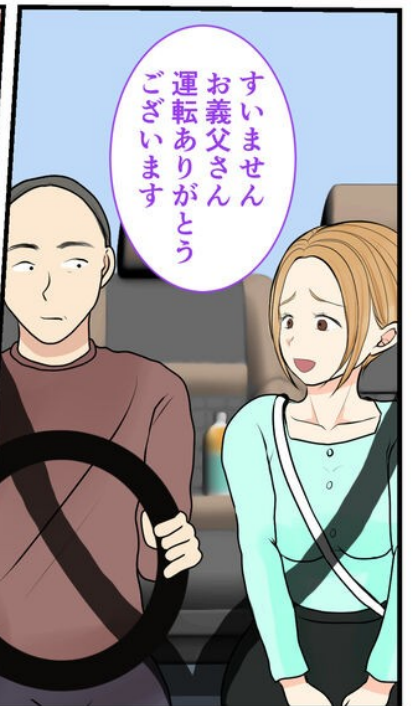
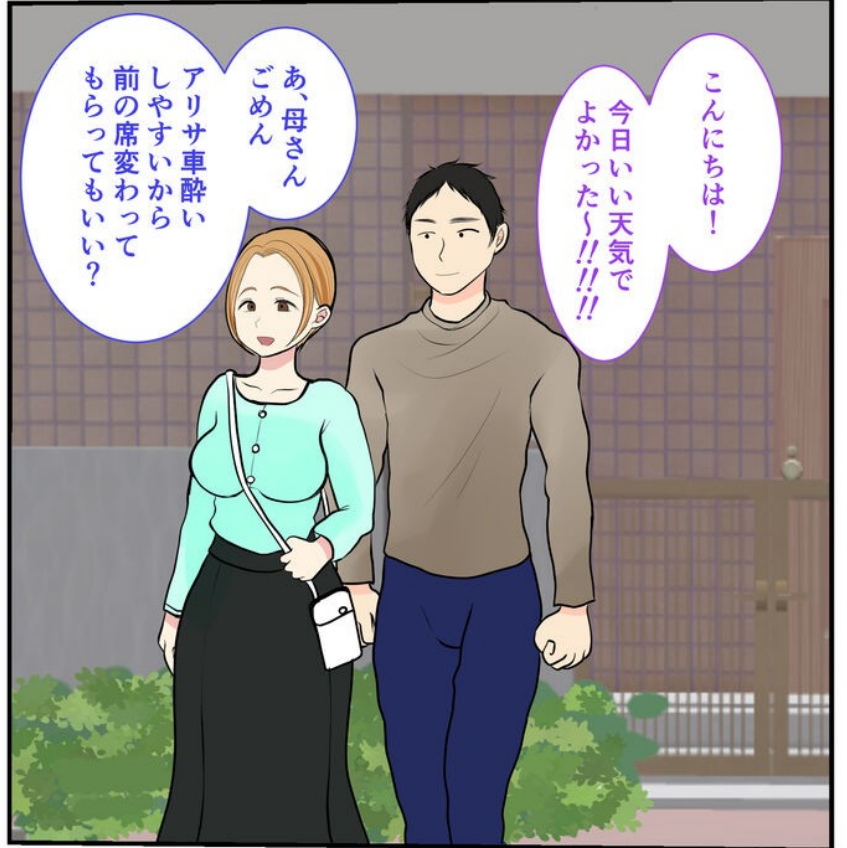
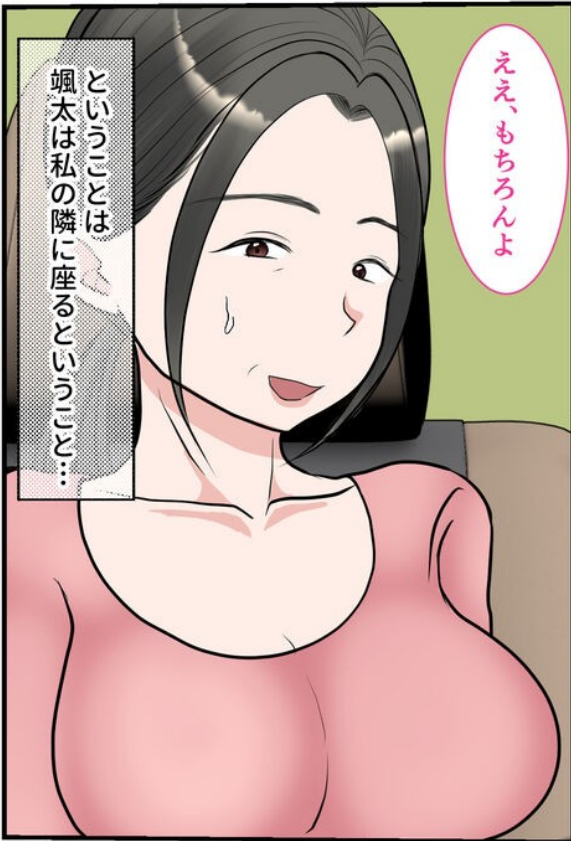
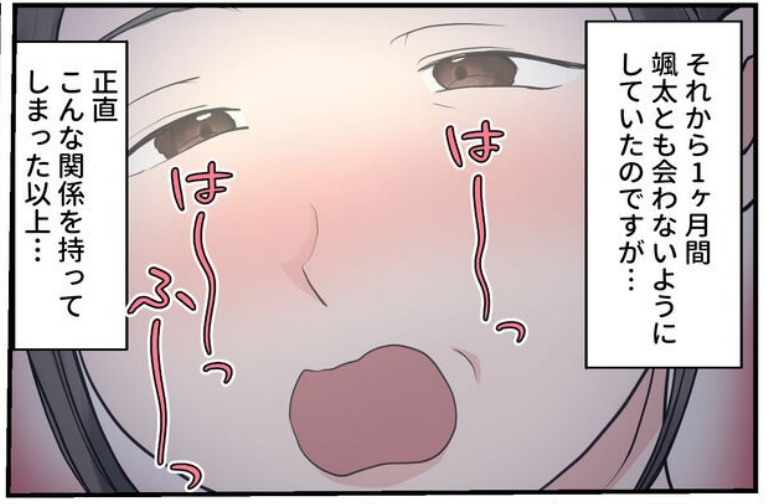
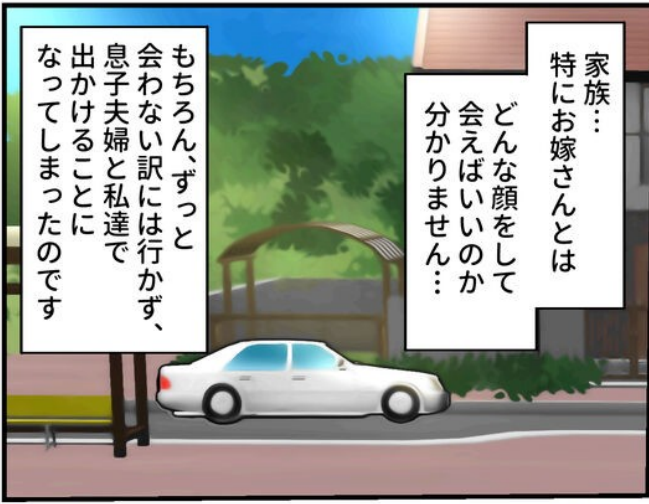
私は
2回も
颯太の
精液を
受け止
めました
のです

その日

あ...あ...ん...ん...
あ...あ...ん...ん...
あ...あ...ん...ん...

あ...あ...ん...ん...
あ...あ...ん...ん...
あ...あ...ん...ん...

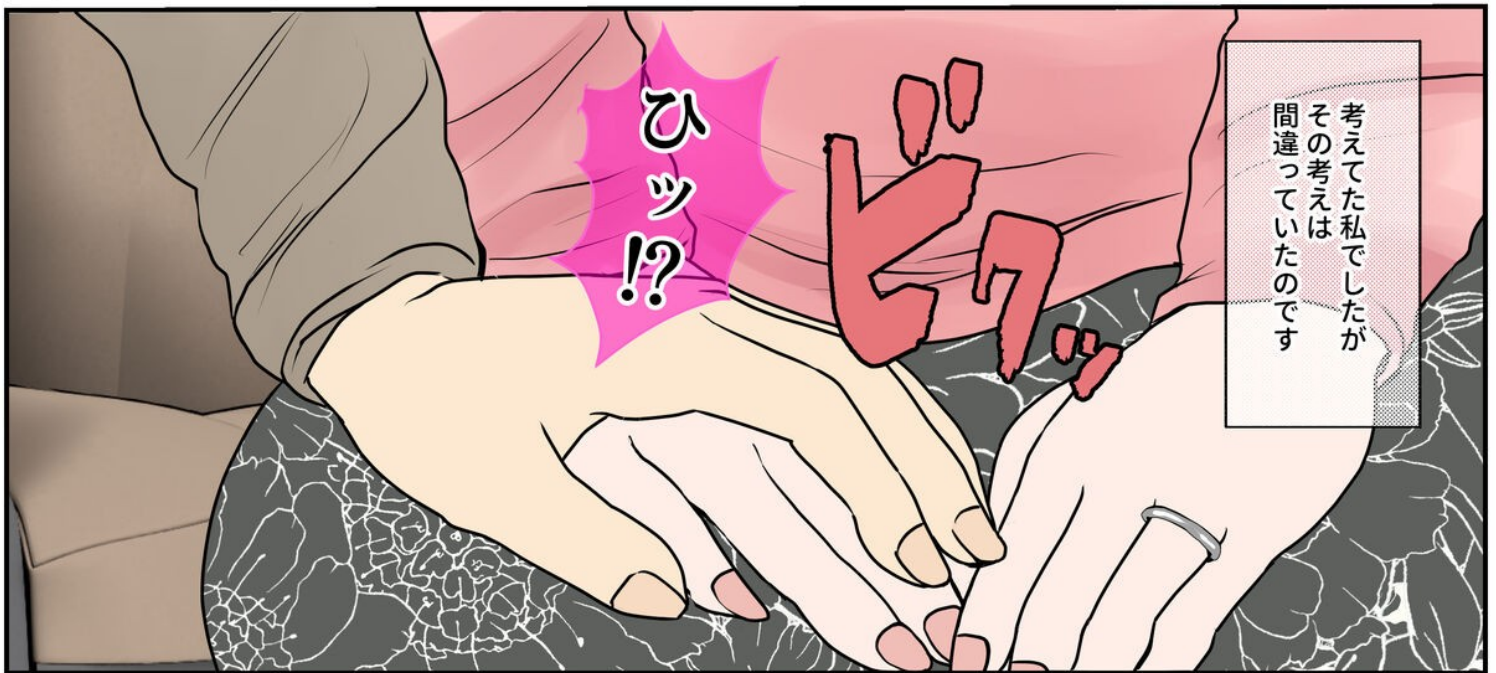






何も
起こらないだろうと…

颯太と
隣り合わせ…
でも他の家族もいるので…

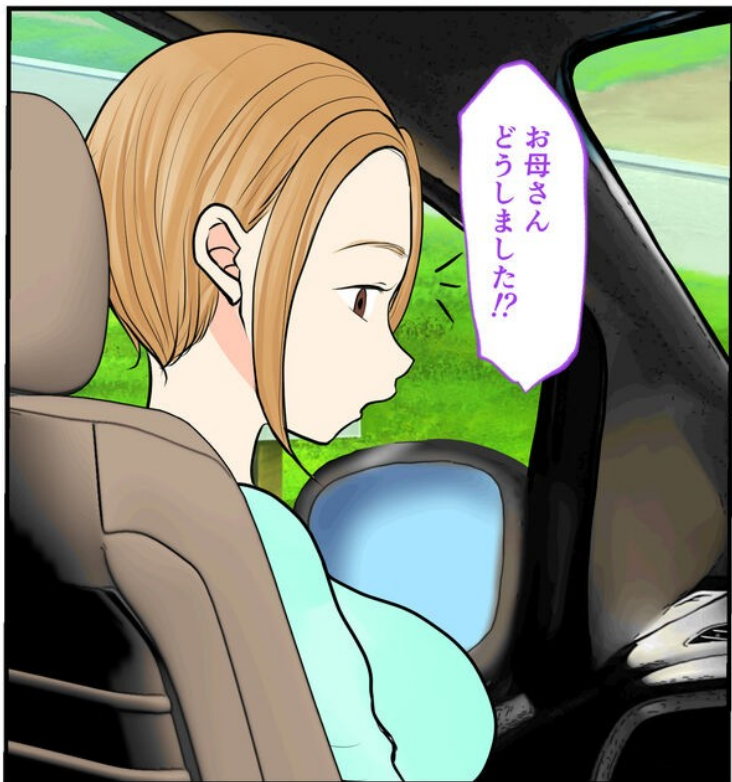


考えてた私でしたが
その考えは
間違っていたのです



ごめんなさいね
虫がいて…

私、虫は
大の苦手で…



お母さん
どうしました!?



あわ…
あわわ…



そして、颯太は
スマホにメッセージを
送ってきたのです



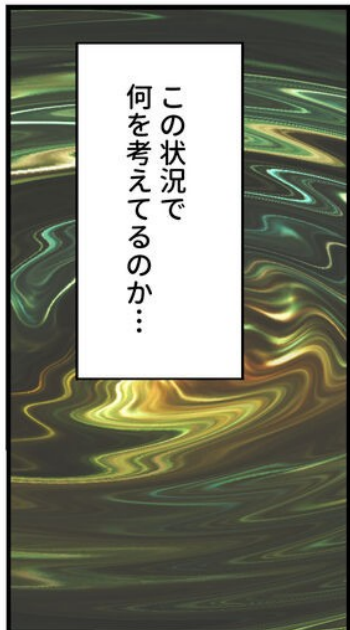
虫嫌ですよね
私も苦手です

颯太は、
いたずらっぽく
私に笑いかけてました



撫で回してきました

颯太は私の
おしりをいやらしく



この状況で
何を考えてるのか…



颯太のそびえ立った
ペニスを
握ってしまいました

びっくりした私は
バランスを崩し

おめっ

仕方ないので
颯太のペニスを握り

上下に
擦りました



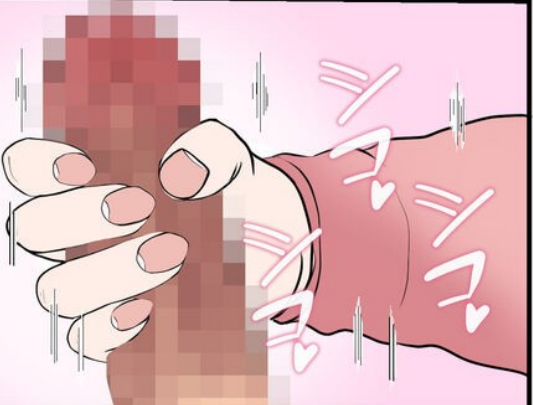
母さん上手いよ

すっげえ
気持ちいい…



いつ
家族にバレても
おかしくない状況でした

母さん
舐めてよ
手コキだけじゃ
イカなそう



私は
颯太のペニスに
舌を這わせました

ふるふるっ…

今日本当に
楽しみにしてたん
ですよ

大型の
ショッピングモールが
こんな近くにできるなんて！

れ…れ
ふるふるっ…

いっぱい
お買い物したかったから
車で助かりました！

れろっ…

れろれろ

会員になると
さらに
お得に買えるみたい
なんです！

ぽぽぽっ

ぽぽぽっ

ああ…
どうか
後ろを振り向かないで…と
祈りました

ちろちろっ…
ちろちろっ…
♡♡

れろれろ…

レロレロ…

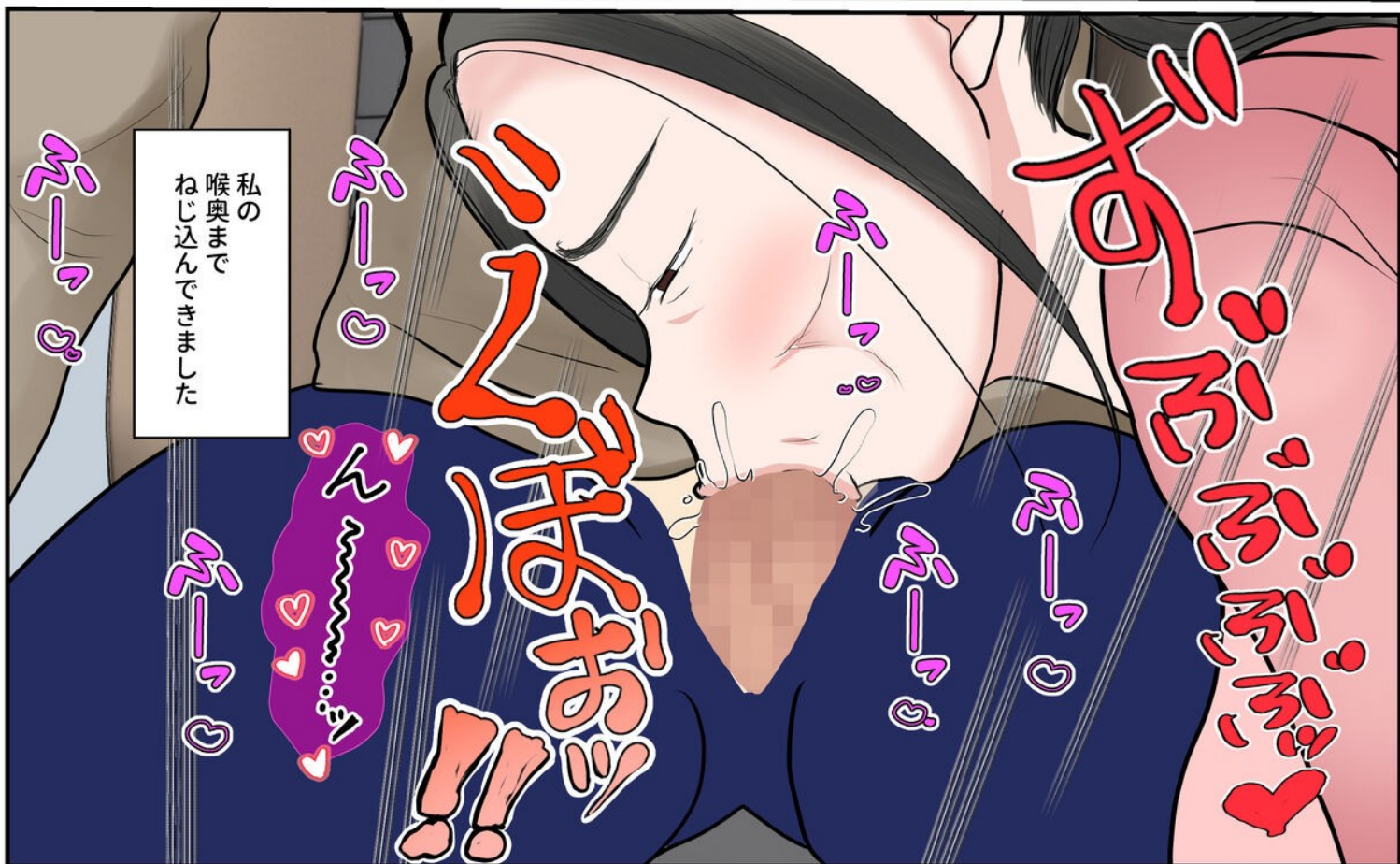
れろれろ…



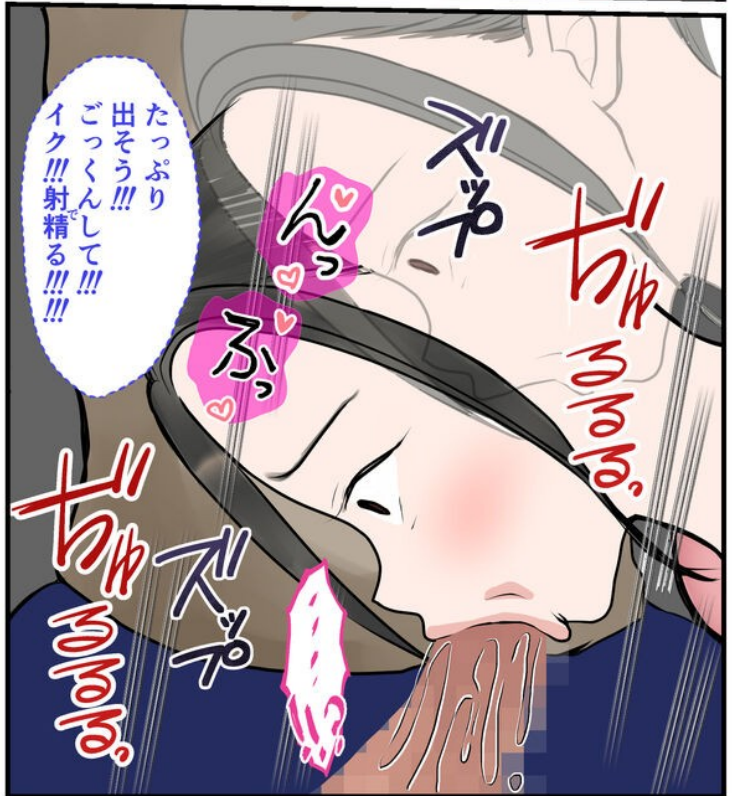
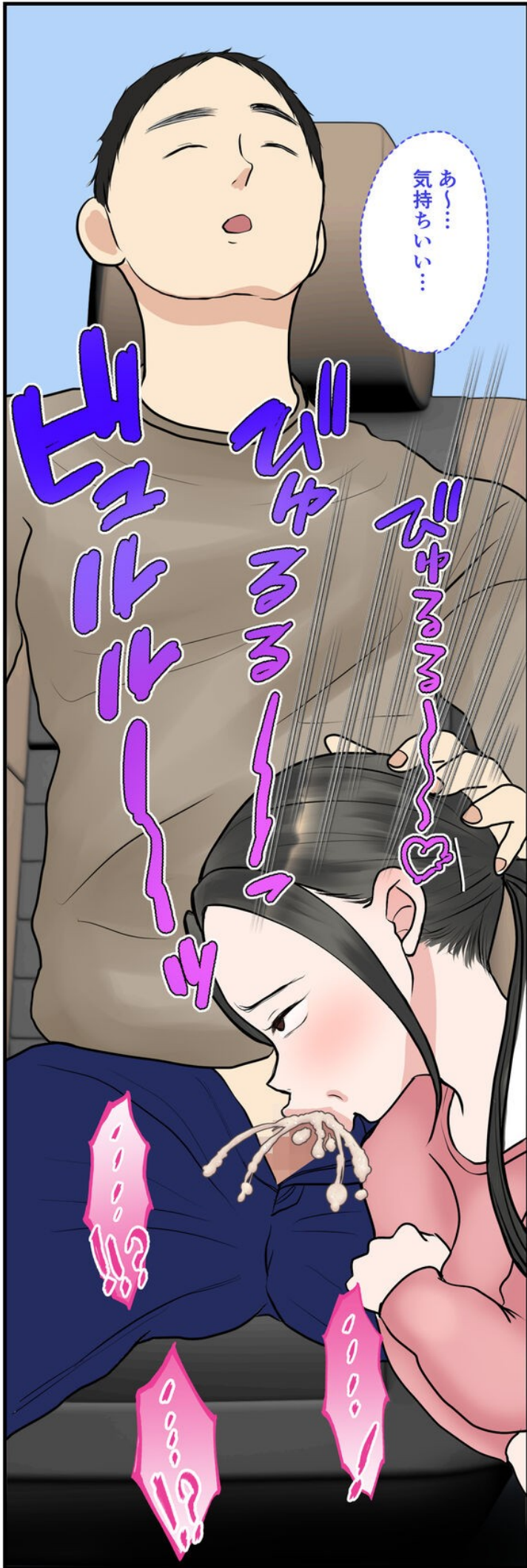
颯太は
私の頭を
押さえて



大きい…
大きすぎるペニスを



私の
喉奥まで
ねじ込んできました





颯太に言われるがまま
全て飲み干しました



青くさい
大量の精液を
口の中に出され…

喉につまりそうなほど
粘稠性が高く



早く



母さん
お掃除フェラして…



優しい息子の
サディスティックな一面に
驚きながらも

こぼれ落ちた精液を
丁寧に舐め取り
パンツの中にしみました

れろっ
れろっ

ちゅっ
ちゅっ

れろっ
ちゅっ

れろっ



どうしよう、
今起き上がったら
怪まれちゃう…

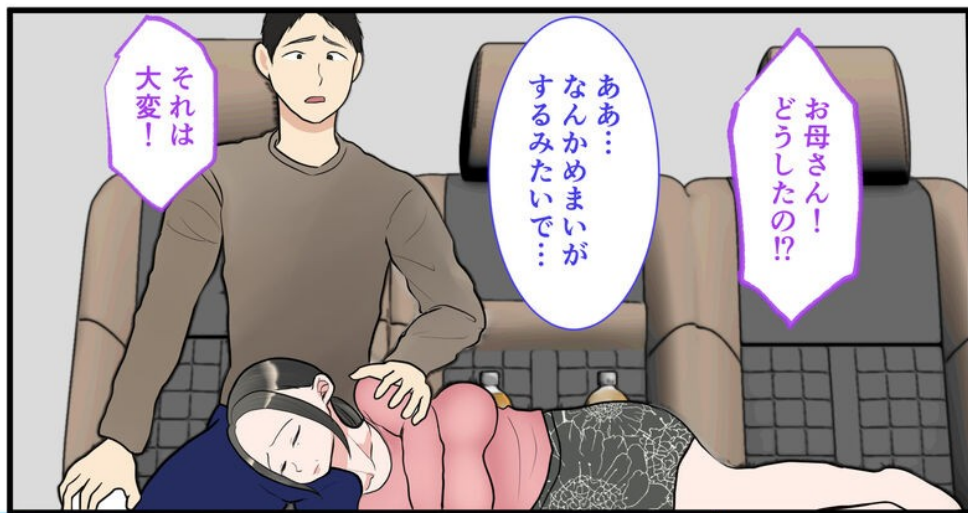
アリスちゃんが
こっち向いちゃう!

ドキッ



颯太!
お母さん、
もうすぐ着きますよ!

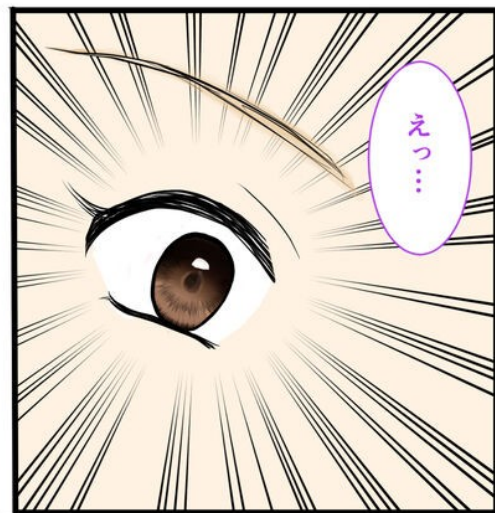
どっ



それは
大変!

ああ…
なんかめまいが
するみたいで…

お母さん!
どうしたの!?



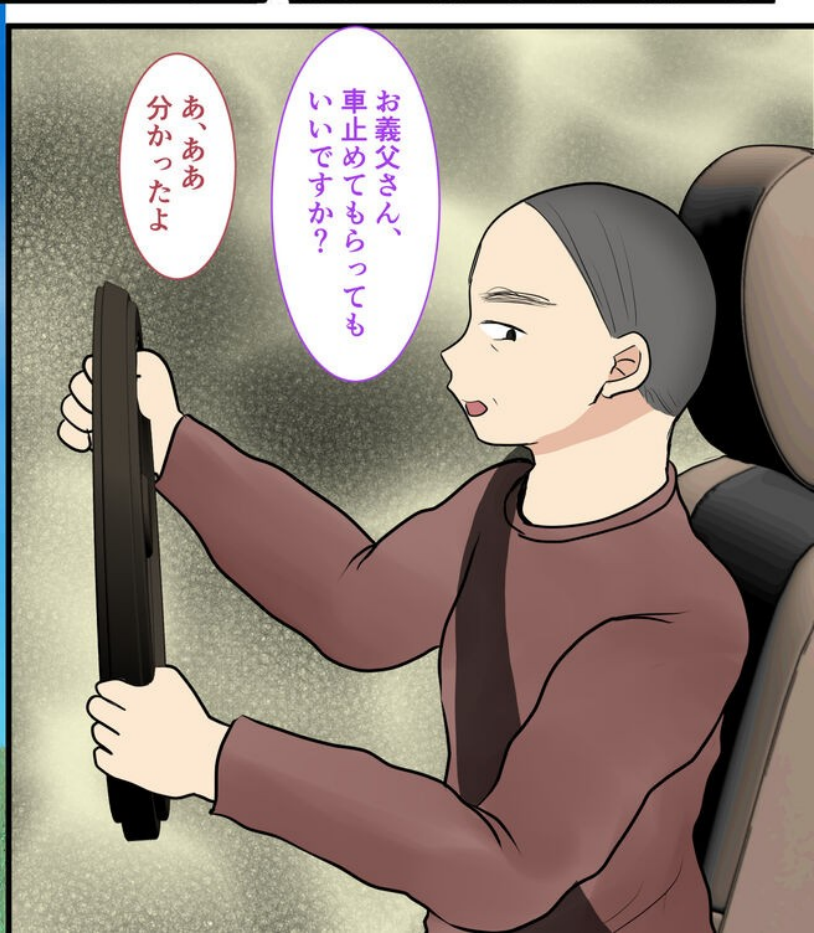
えっ…



あ、
大丈夫だよ
ここで
降りしてもらって

どうしよう…
病院行こうよ!

フワッ



あ、ああ
分かったよ

お義父さん、
車止めてもらっても
いいですか?



わ、分かった

アリサは
買い物してきて
くれないか？
みんなでも
待ってても
病院は迷惑だろうし…



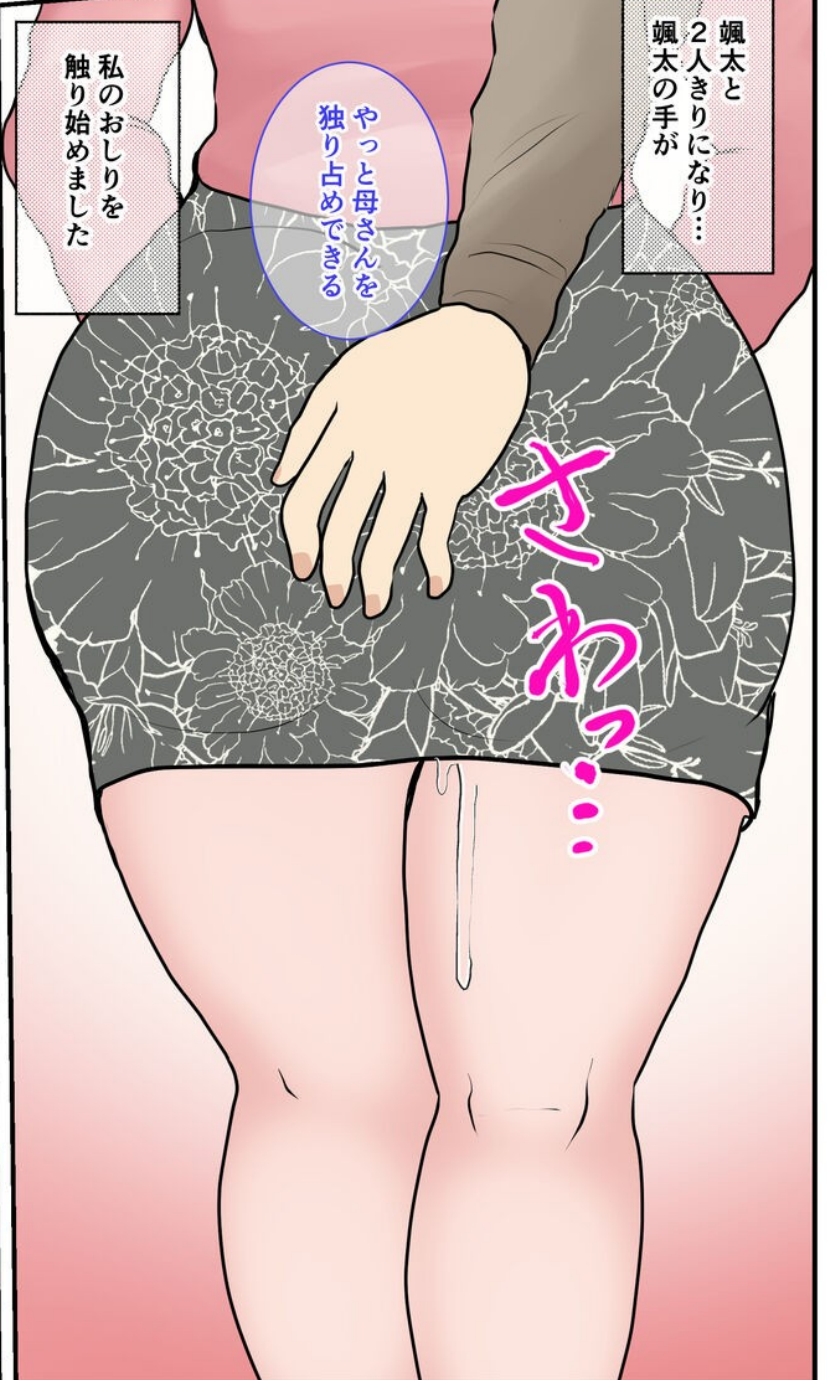
俺
連れてくから

すぐそこに
病院見えるだろ？
母さんのかかりつけ
なんだ



ふふっ
スリル満点の
ドライブだったでしょ？

ダメよ…
こんな明るい
ところで…

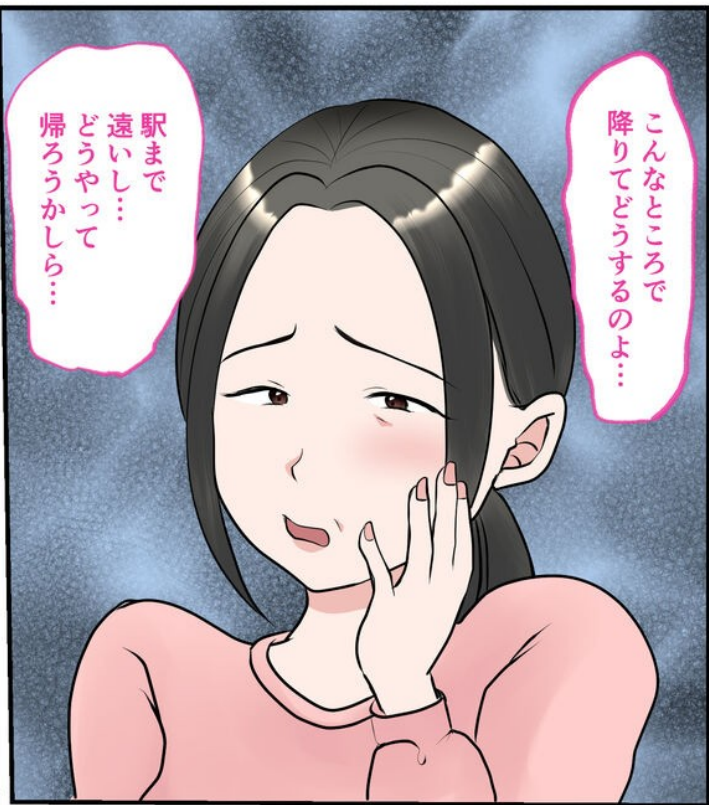
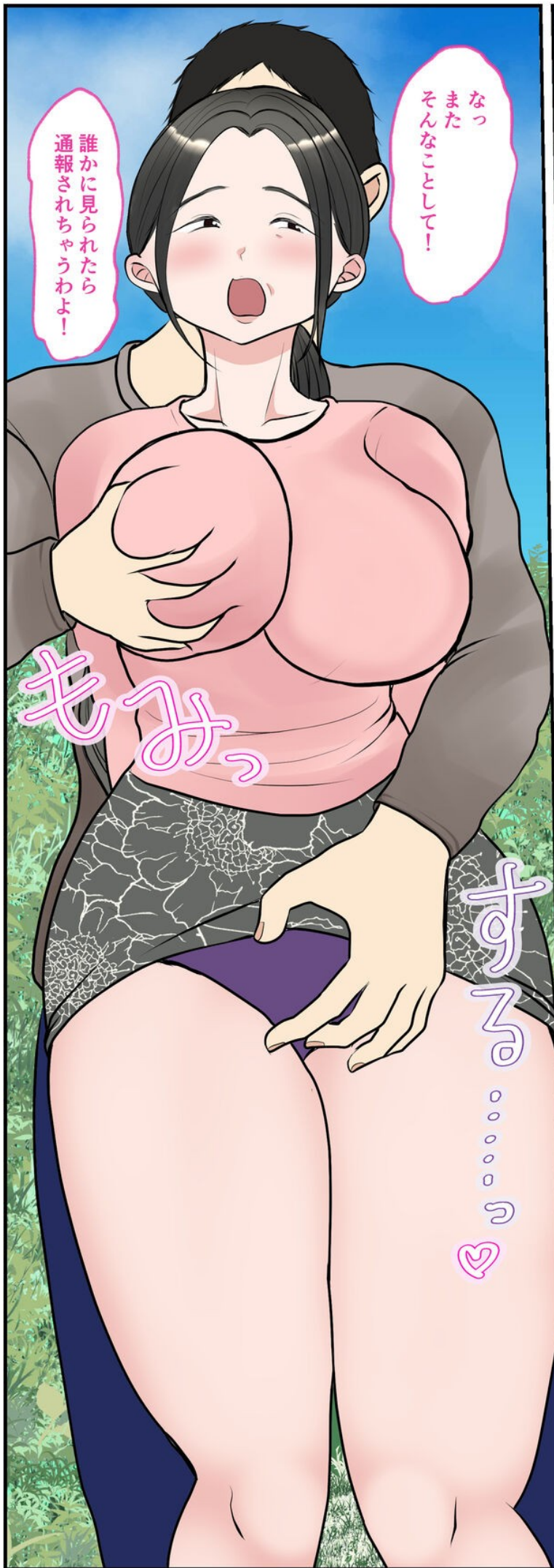


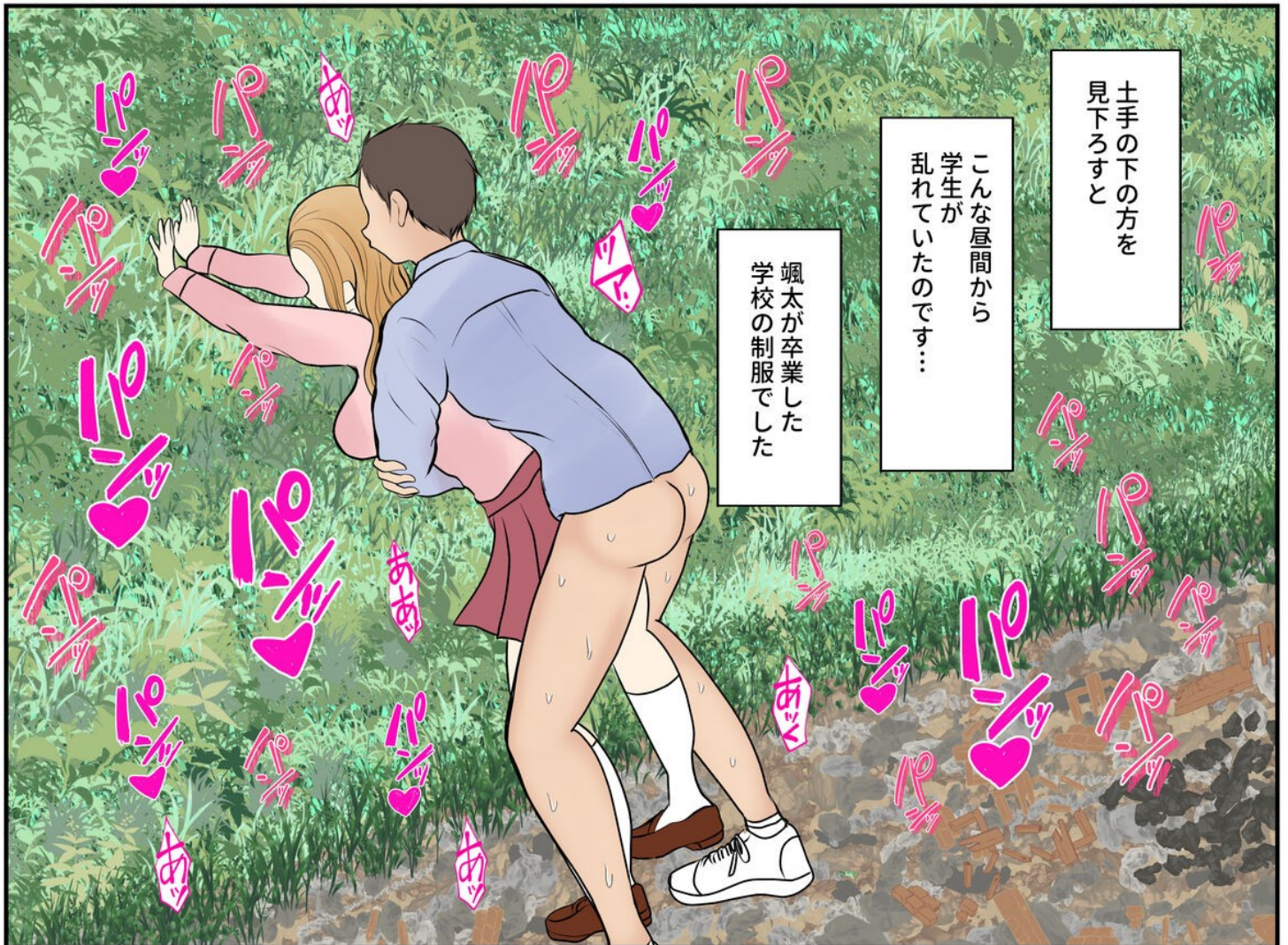
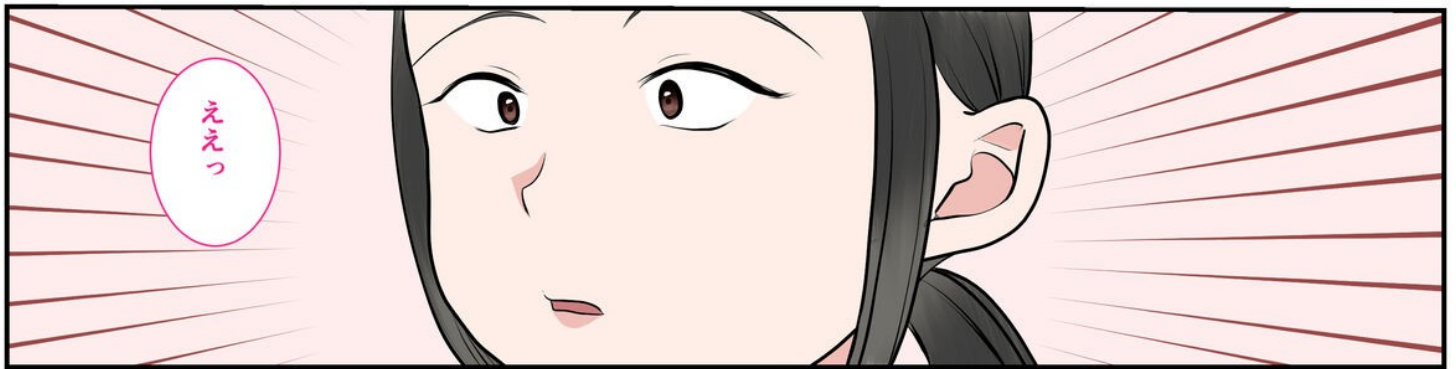
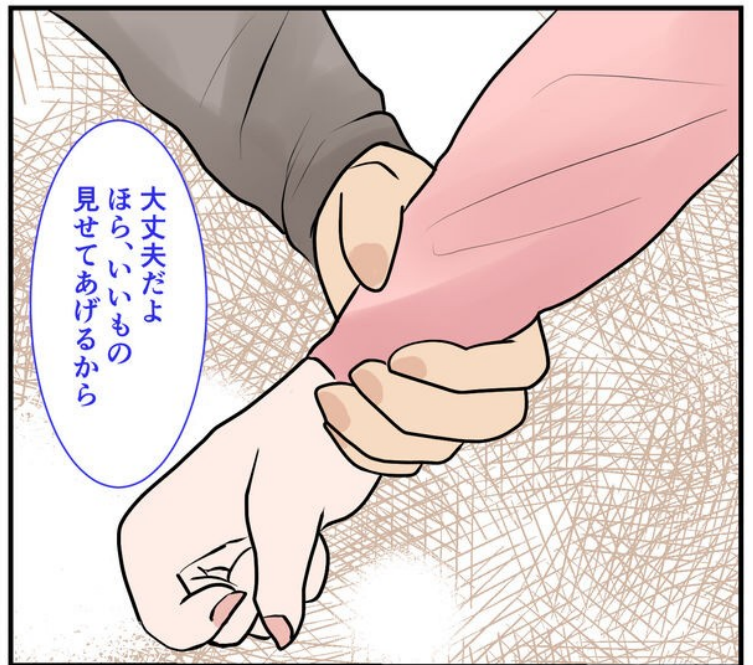
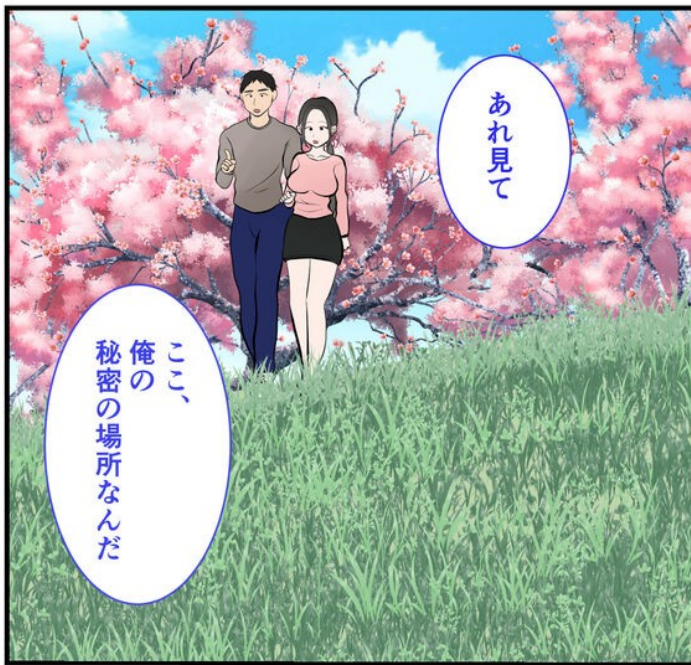
私のおしりを
触り始めました

やっと母さんを
独り占めできる

颯太と
2人きりになり…
颯太の手が

さわっ？







私の服はどんどん
脱がされ...

だめ...

もみっ

もにゅっ♡♡

あ♡♡

あ♡♡



パンツも
何もかも
剥がされて...

スルッ

だめえッ

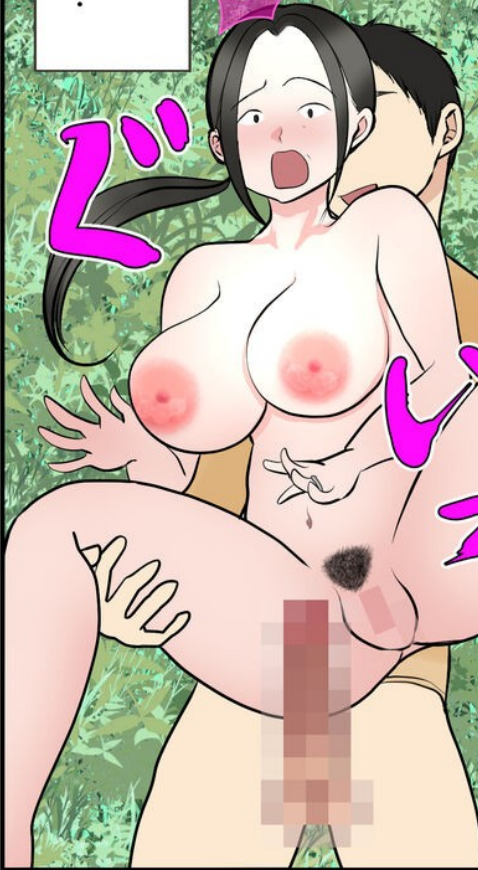
颯太に
後ろから
抱きつかれ

きん!!

恥ずかしい
ポーズを
させられて...

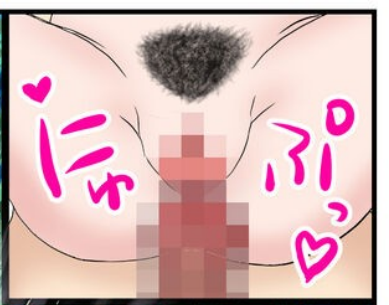
ぎん

いっ





あー、やっと
母さんのおまんこ
繋がれた



一気に
挿入されてしまったのです

あはあッ

いれるところ
学生に
見せつけて
やろうぜ

ん~~~~

おっおっおっ



恥ずかしくて
たまりませんでした

息子より
何歳も若い子達に
こんなおばさんの
いやらしい姿を
見せつけているだなんて...

あんん

ズッ

ズッ

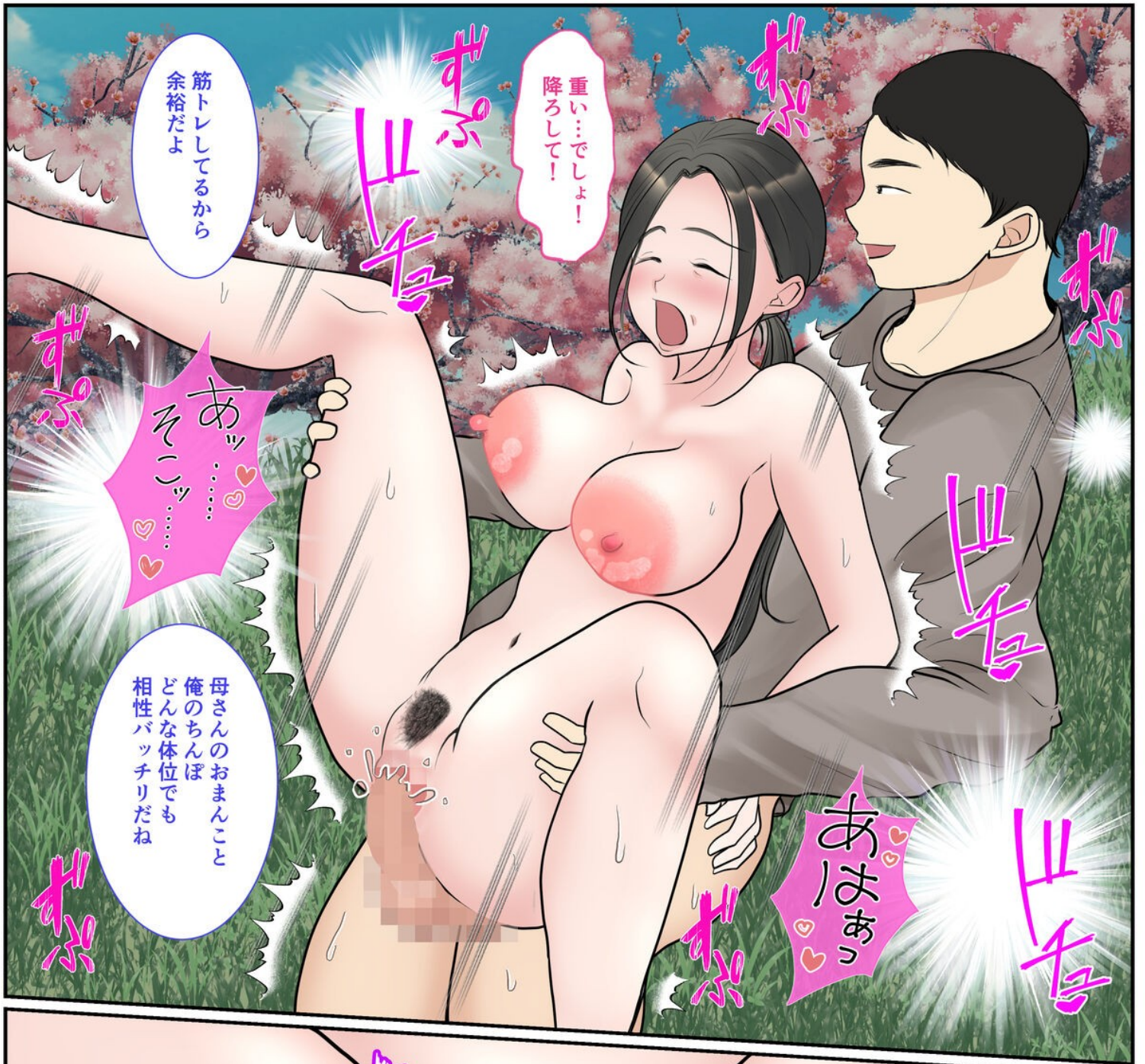
ズッ

ズッ

あんん

ズッ

ズッ



筋トレしてるから
余裕だよ

重い…でしょ！
降ろして！

あッ…
そッ…

母さんのおまんこ
俺のちんぽ
どんな体位でも
相性バッチリだね

あッ
あッ

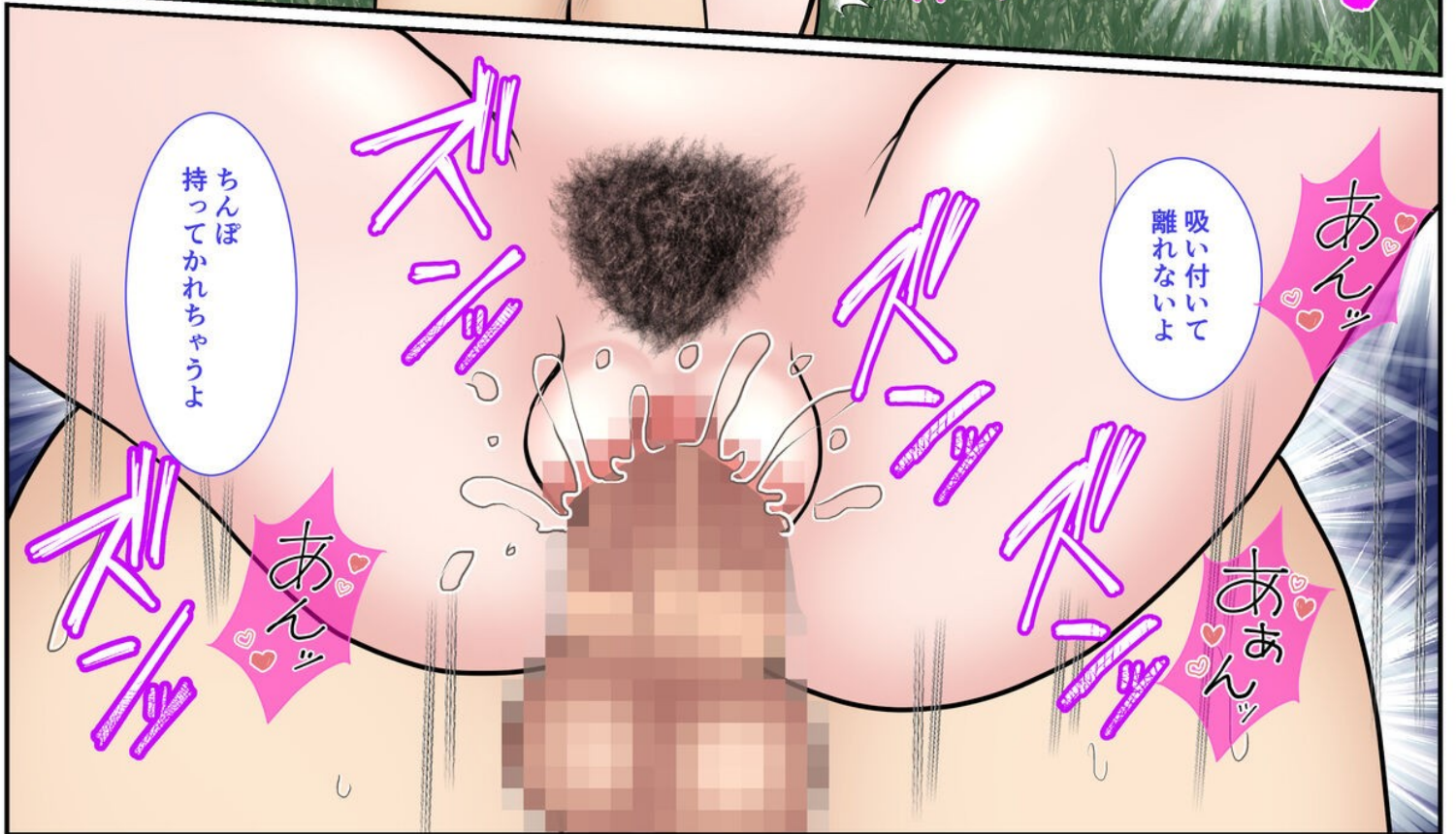
あッ

あッ

あッ

あはあッ

あッ



ちんぽ
持ってかれちゃうよ

吸い付いて
離れないよ

あんッ

あんッ

ああんッ

あッ
あッ

あッ
あッ

あッ
あッ

こんな体勢でセックスするのは初めてで、あまりの快感に何回果ててしまったか分かりませんでした

何度も恥ずかしい汁が私のおそこから吹き出し

見られてると思えば思うほど感じてしまっていたのです

ほらっ
もっと奥まで
突いてあげる

きもちイグッ
イグッ

イクッ

キグッ

ああん

イクッ

あん

あん

あん

あん

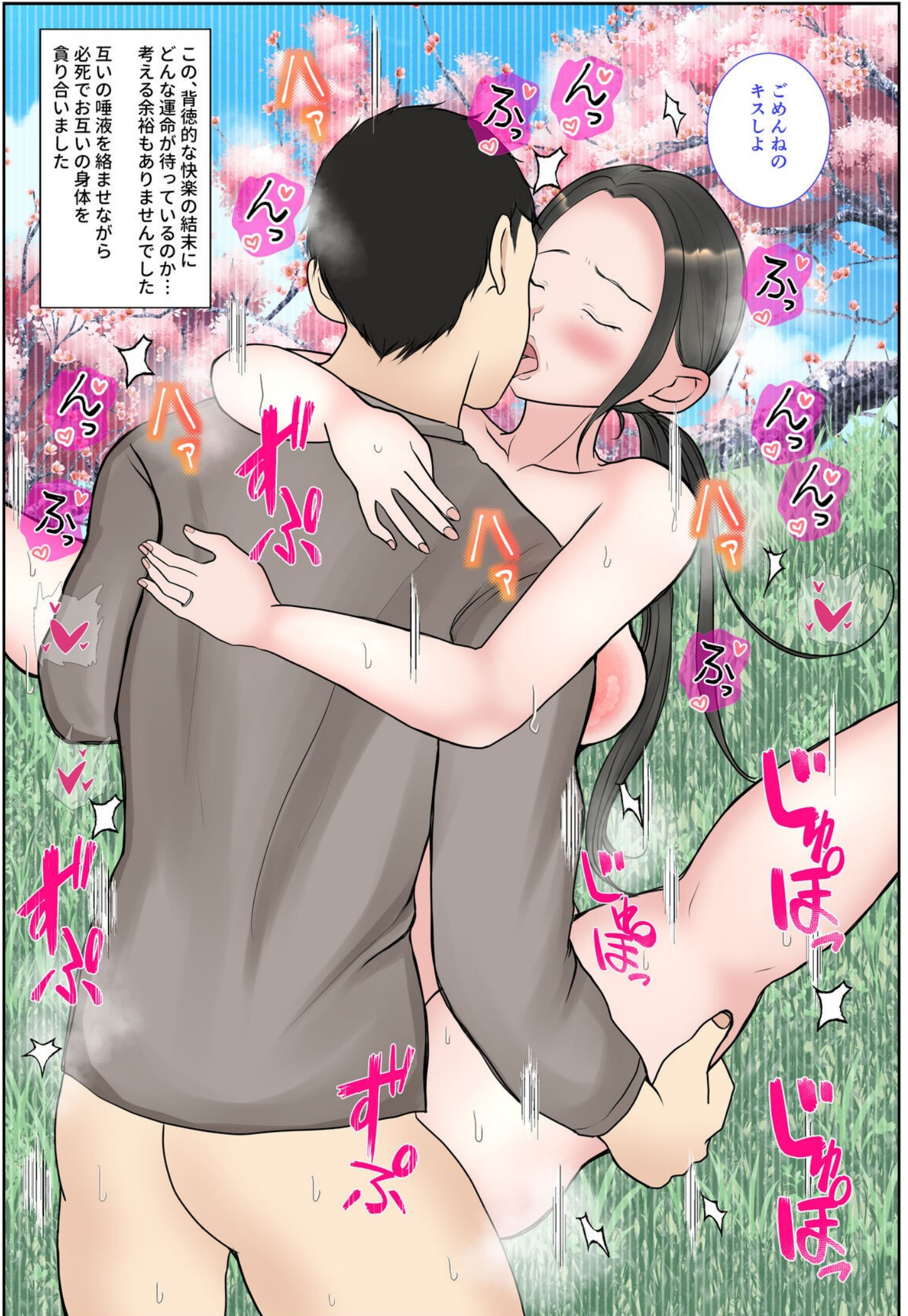
あん

あん



ごめんねの
キスだよ

この、背徳的な快樂の結末に
どんな運命が待っているのか…
考える余裕ありませんでした
互いの唾液を絡ませながら
必死でお互いの身体を
貪り合いました





唾液と汗と
体液にまみれて



颯太にしがみつきのながら
快感に身を委ねるほか
ありませんでした

何回も果てて...

「きもち
イイッ...

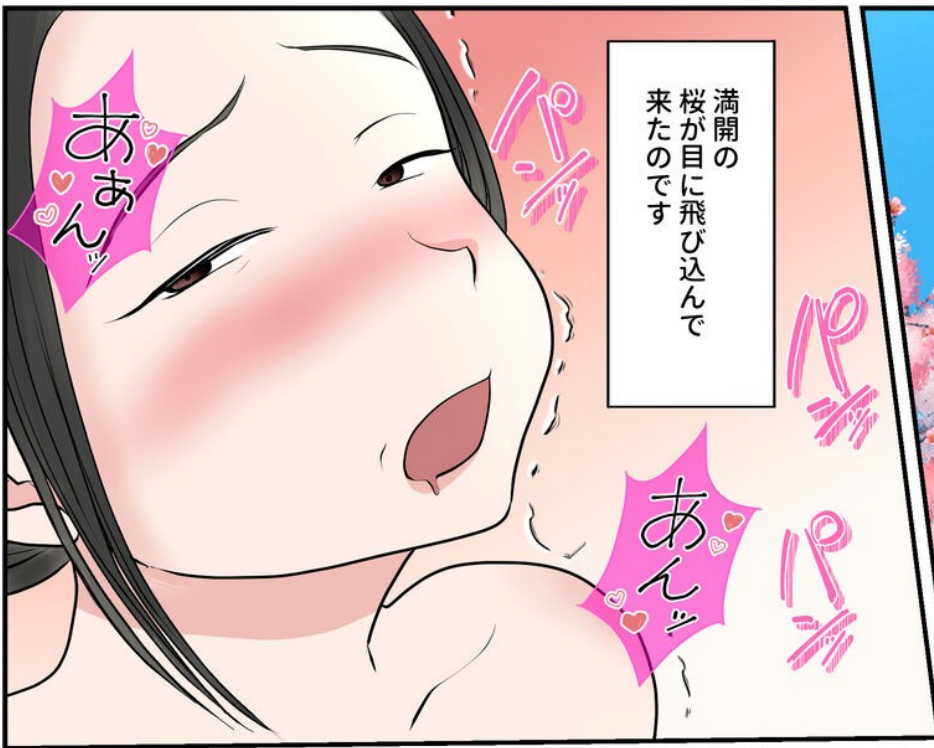
だも...もう...
だめ...ッ...

あ...
アッ...

アッ...
アッ...

アッ...

アッ...



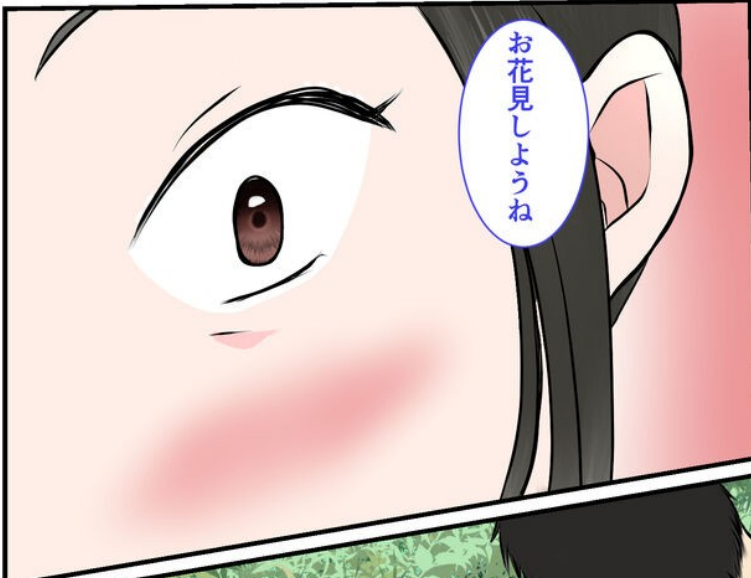
満開の桜が目に飛び込んで来たのです

ああん

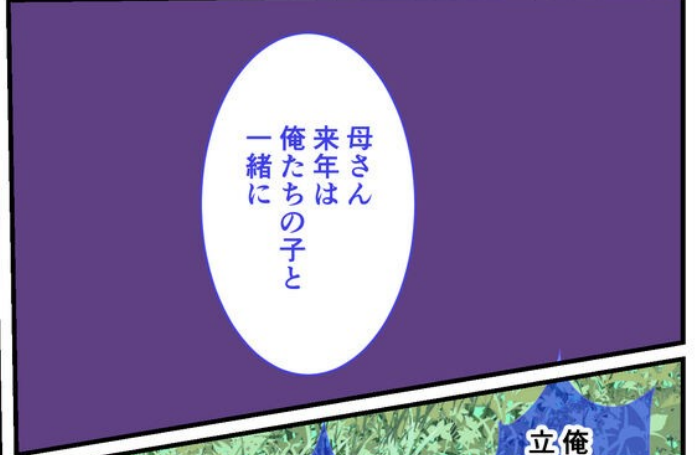
ぱんぱん



ふと空を見上げると



お花見しようね



母さん 来年は俺たちの子と一緒に



俺、立派な親になるから

だから母さん!!!!!!俺の子を孕んで!!!!!!

俺の子を産んでくれ!!!!!!

ああん

ああん

ああん

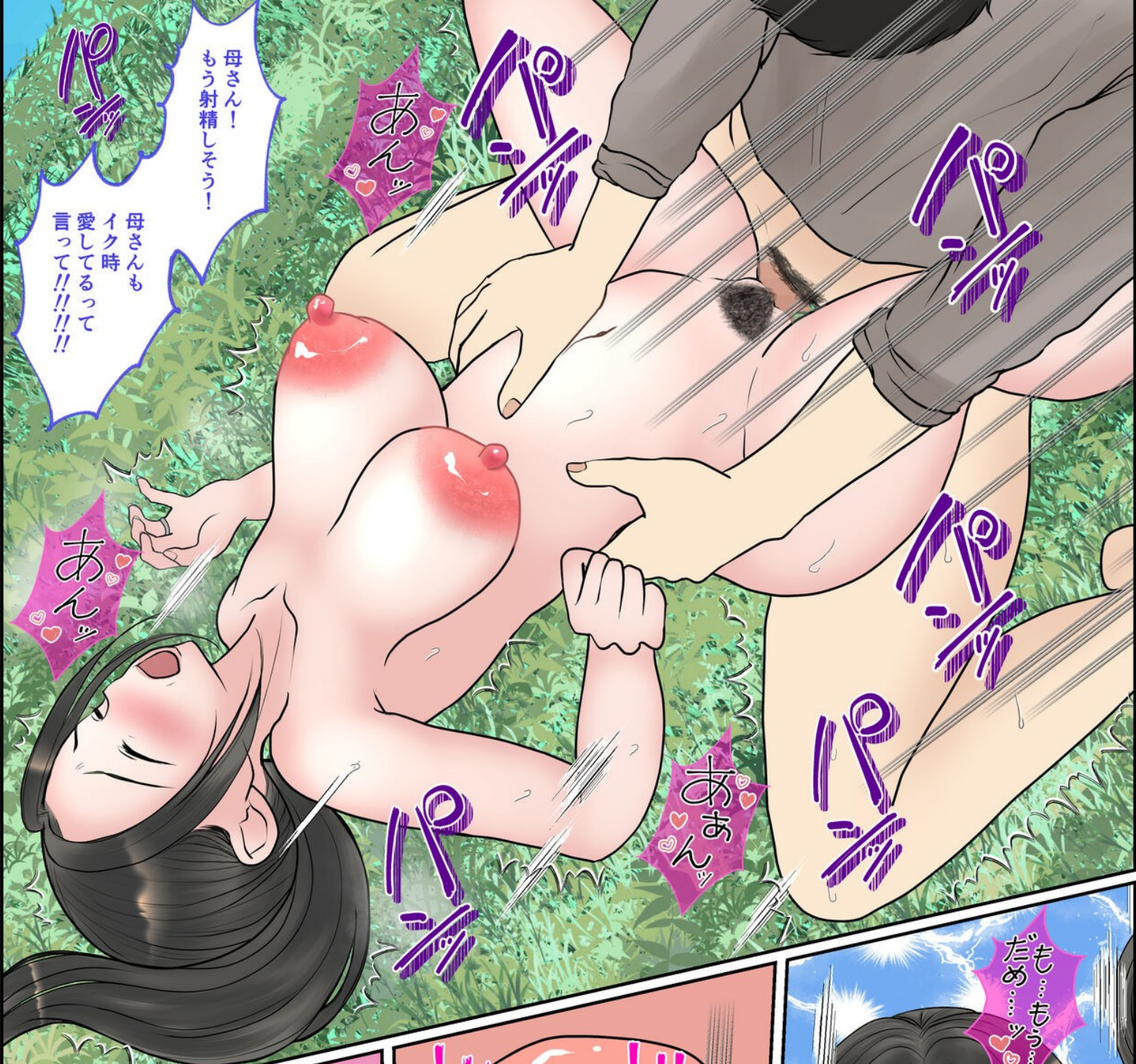
ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん

ぱんぱん



母さん！
もう射精しそう！

母さんも
イク時
愛してるって
言ってる！！！！

あん♡

パッ♡

パッ♡

パッ♡

パッ♡

パッ♡

ああん♡

あん♡



ちまうだ♡
い♡い♡

あ♡

あ♡

あ♡



ながに♡
だして！！！！

あ♡

あ♡



だめ...も...♡

だめ...か...♡

ああん♡



射精すよ!

中に射精すよ!!!

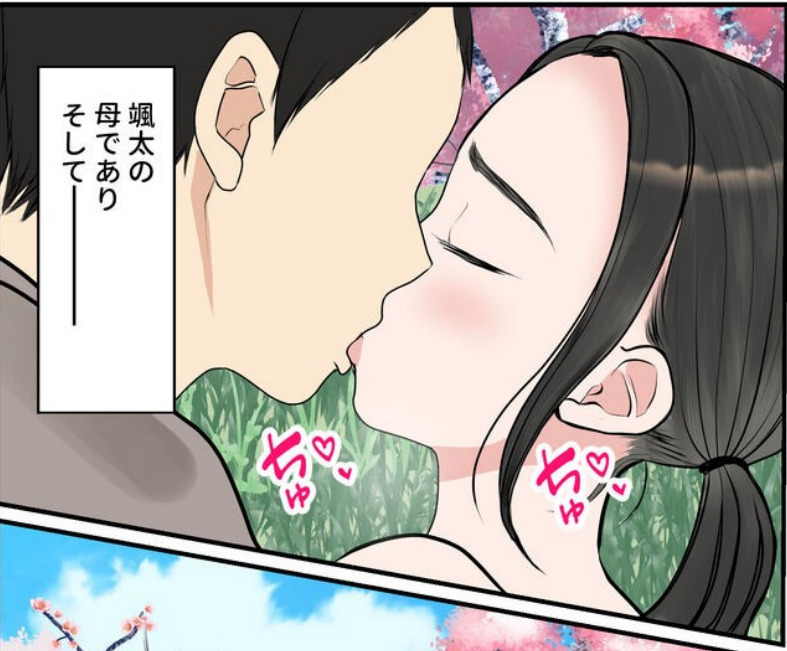


私は

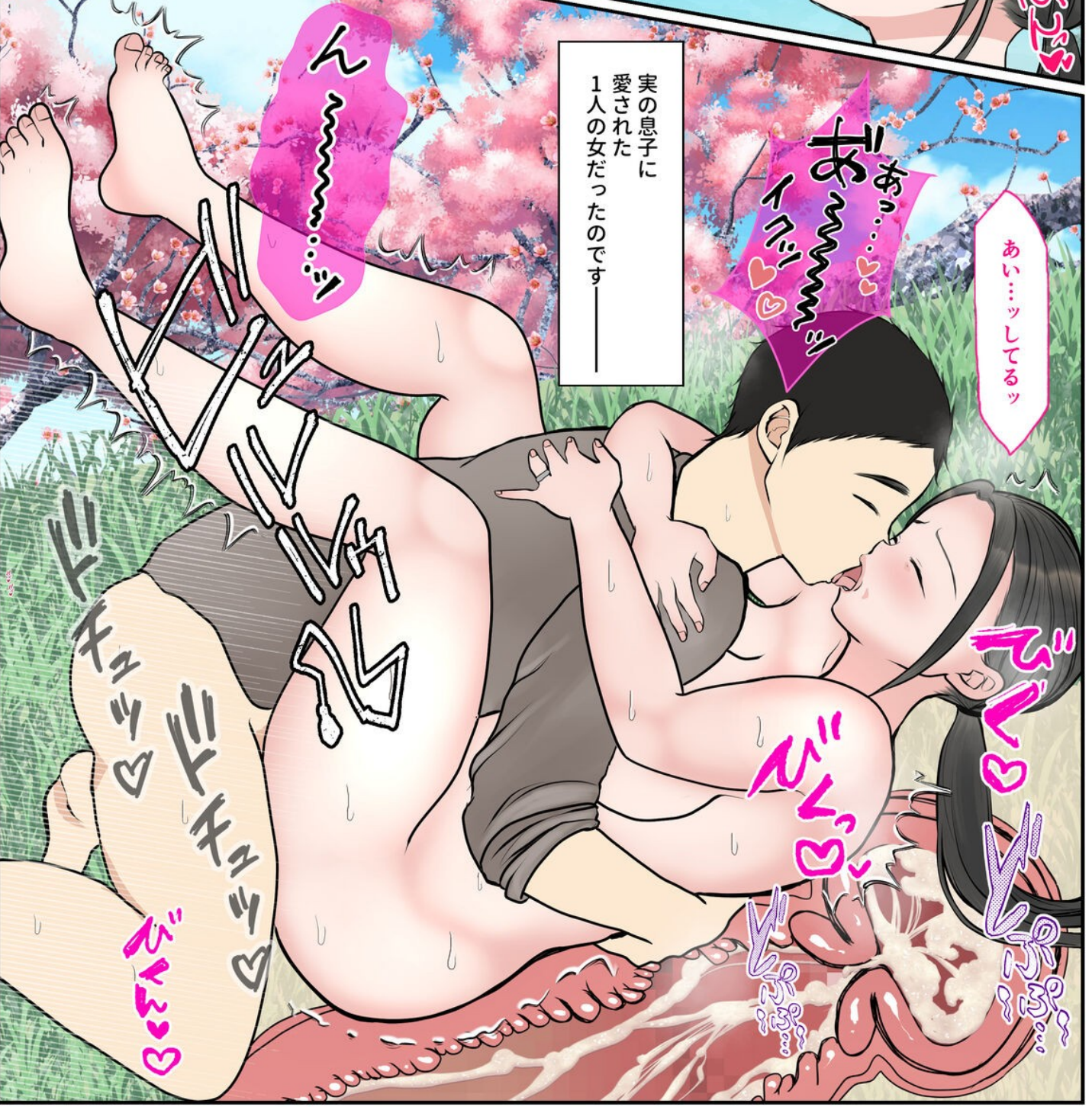
あ...っ♡♡♡♡♡
イミミ♡♡♡♡♡

あ...っ♡♡♡♡♡
イミミ♡♡♡♡♡

実の息子に
愛された
1人の女だったので



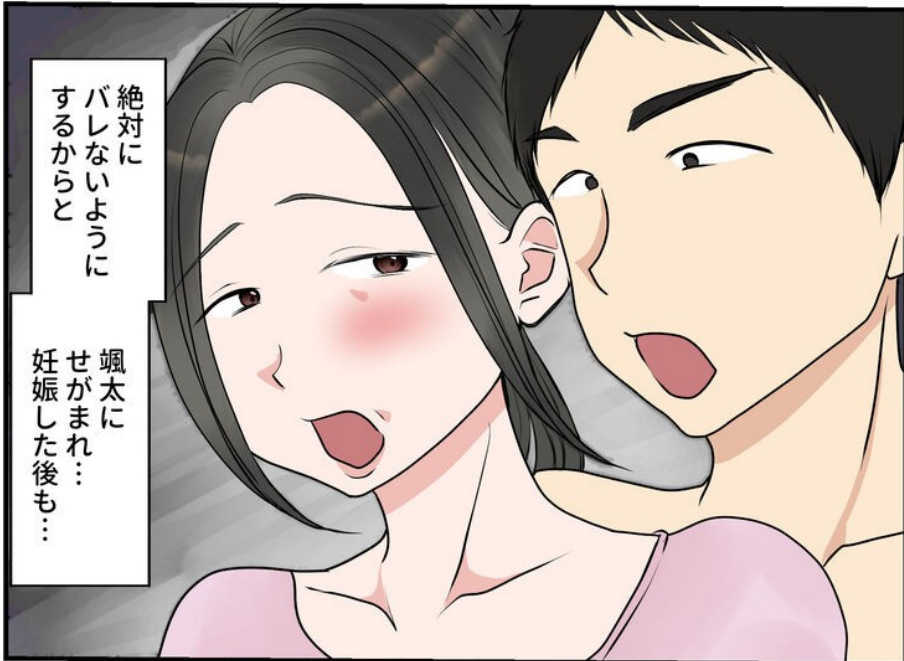
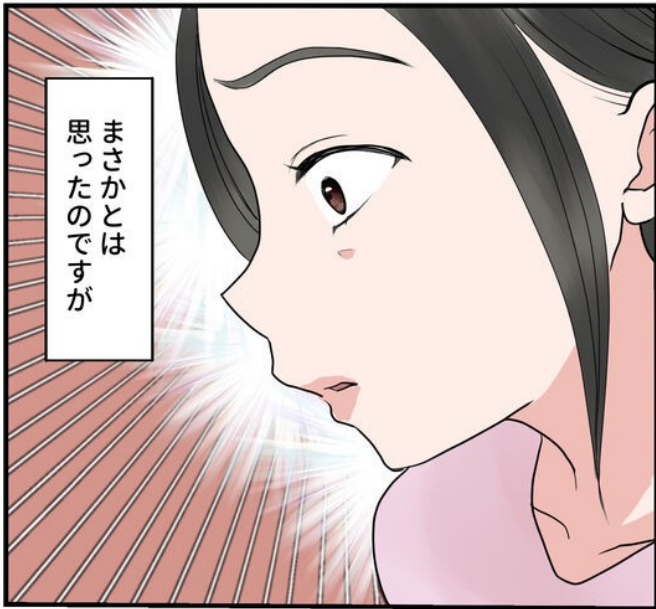
颯太の
母であり
そして



あ...っ♡♡♡♡♡
イミミ♡♡♡♡♡

あ...っ♡♡♡♡♡
イミミ♡♡♡♡♡

あ...っ♡♡♡♡♡
イミミ♡♡♡♡♡



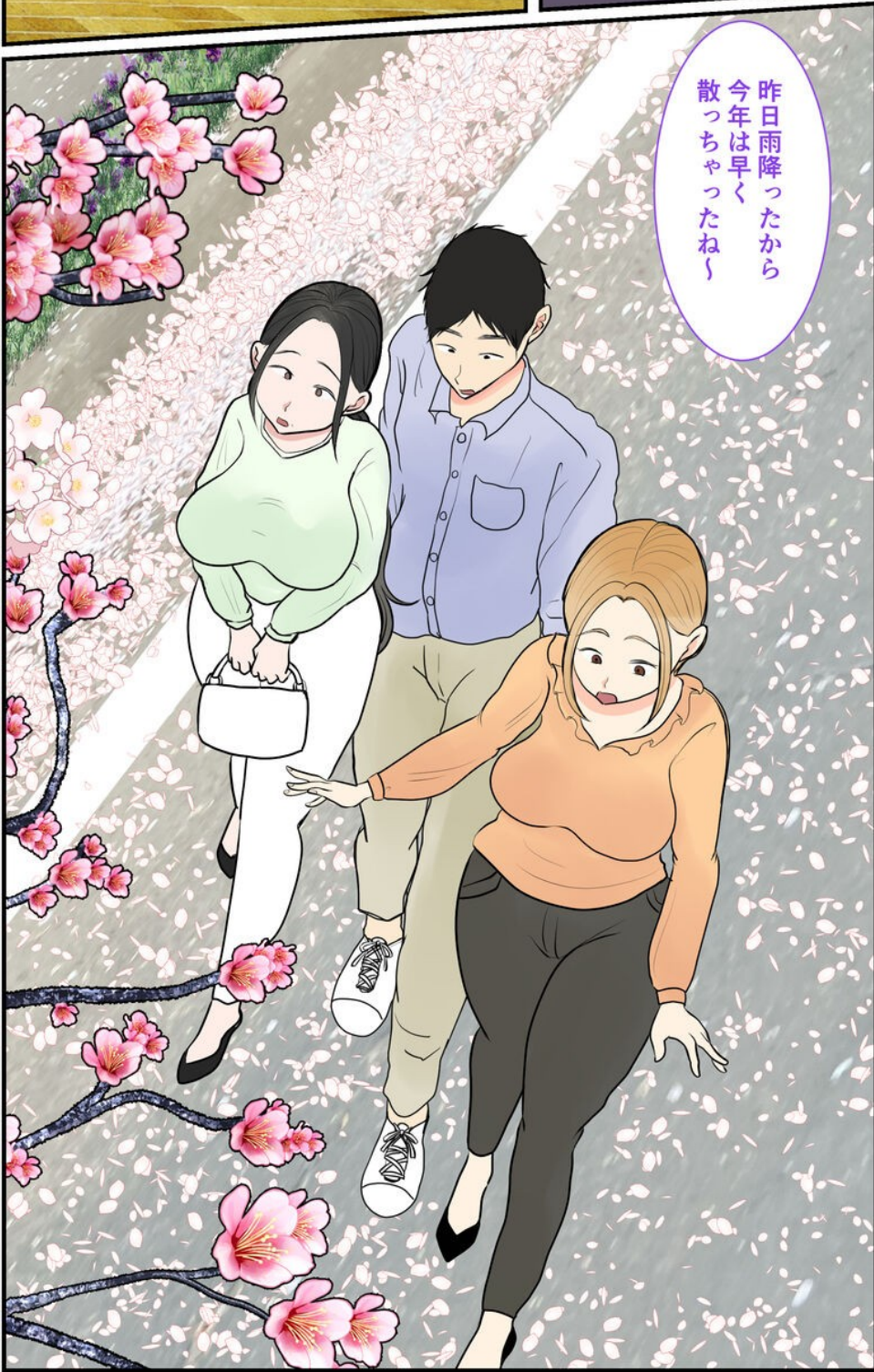


妊娠を報告すると
アリサちゃんは
ものすごく喜んでいました

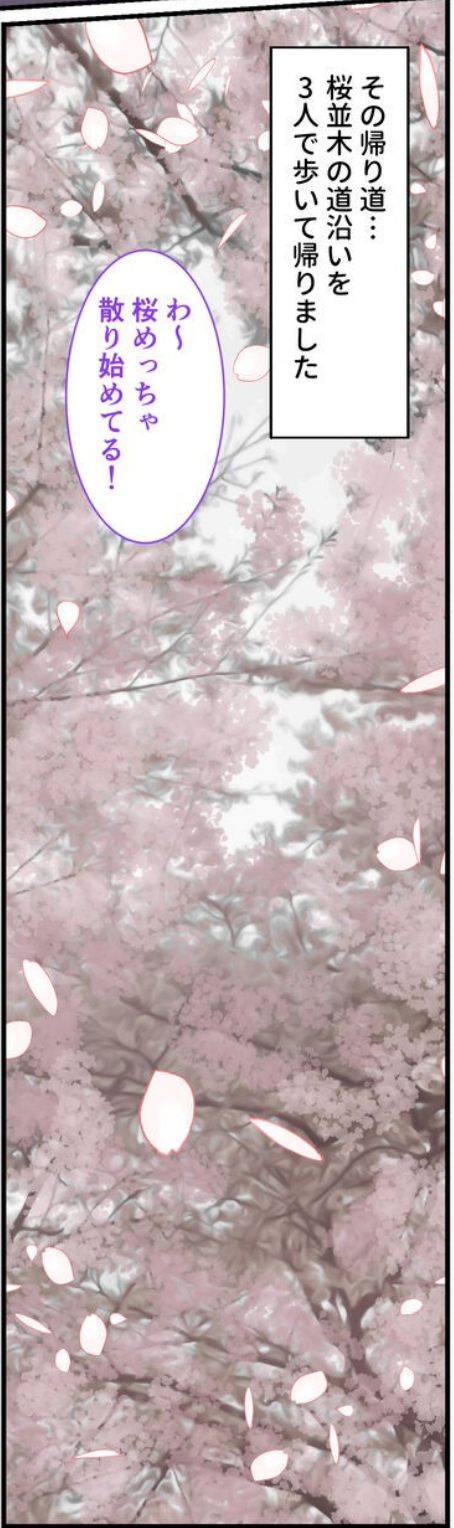
颯太とアリサちゃんと
3人で食事をした時、

私は家族を
不幸にするわけには
行かない

この秘密を
墓場まで
持っていけるのか…



昨日雨降ったから
今年は早く
散っちゃったね



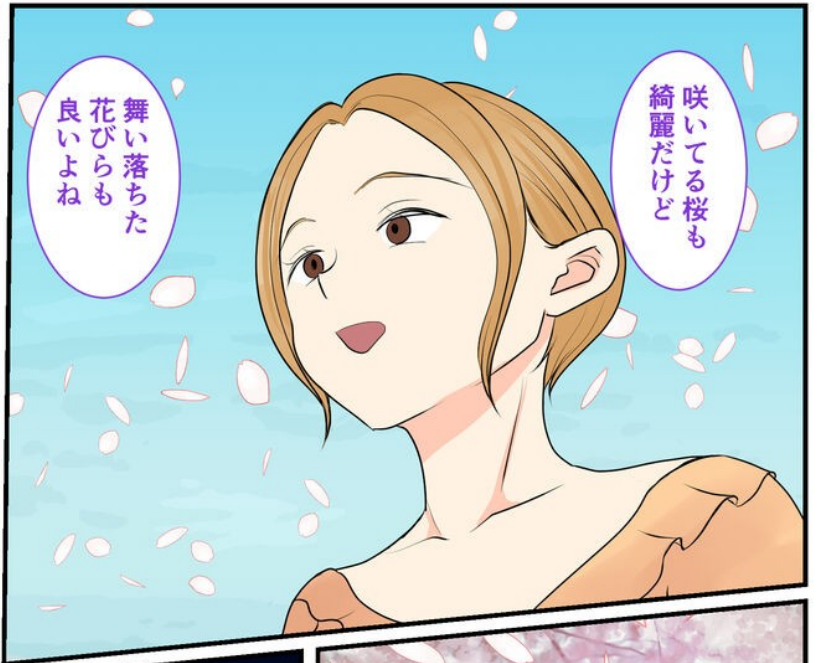
その帰り道…
桜並木の道沿いを
3人で歩いて帰りました

わっ
桜めっちゃ
散り始めてる！



桜の絨毯！

この道は
幸せの道だね



咲いてる桜も
綺麗だけど

舞い落ちた
花びらも
良いよね



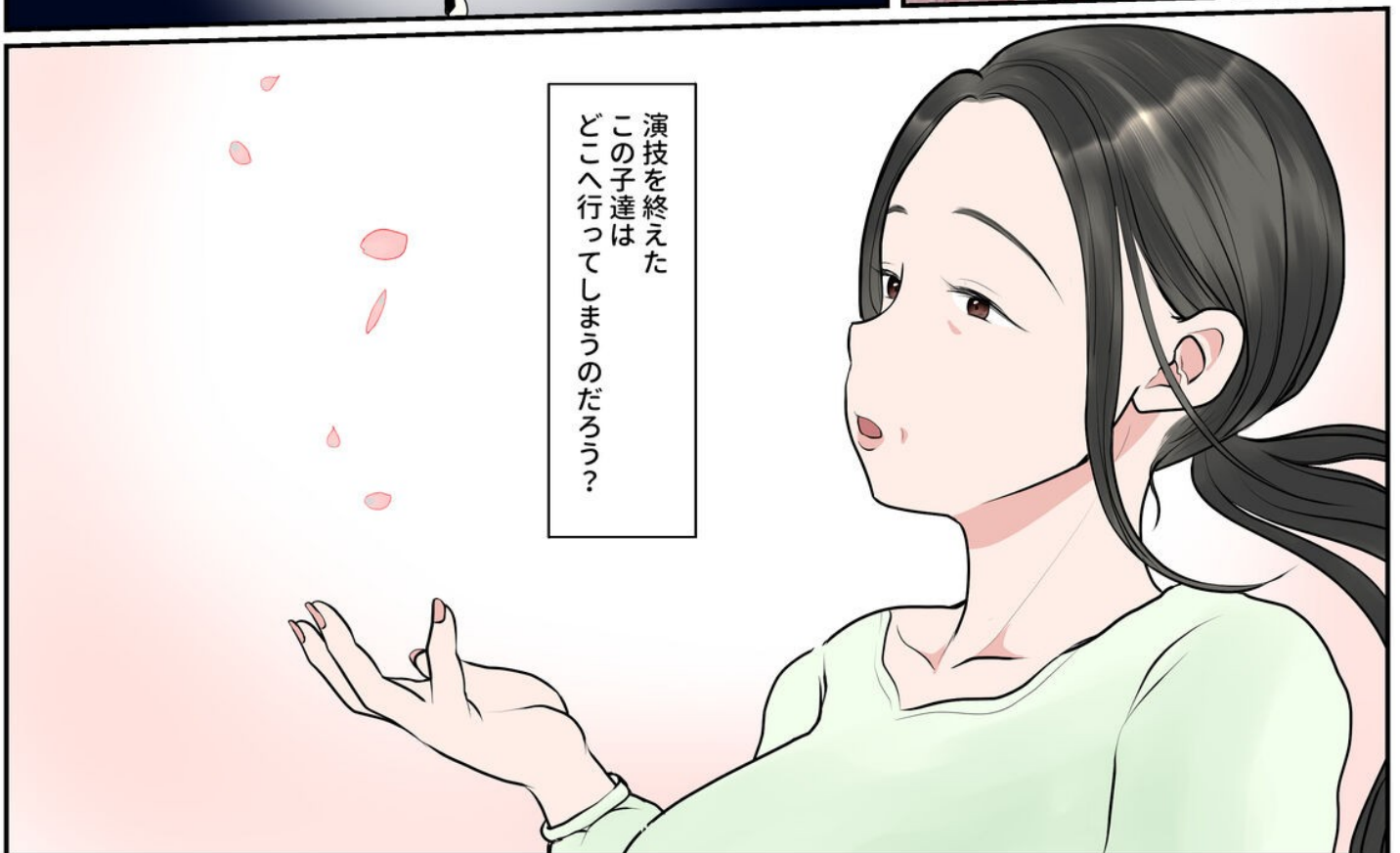
しなやかに
美しく舞い踊り

いつの間にか
消え去って
しまうけど



ああ…

この散りゆく花びらは



演技を終えた
この子達は
どこへ行ってしまっただろう？

